

市立能登川東小学校大規模改修工事 (機械設備工事)

図 面 リ ス ト					
機械設備図					
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
機－01	機械設備工事特記仕様書(1)	－	機－26	改修前1階平面図 給排水衛生設備	1/150
機－02	機械設備工事特記仕様書(2)	－	機－27	改修前2階平面図 給排水衛生設備	1/150
機－03	工事区分表	－	機－28	改修前3階平面図 給排水衛生設備	1/150
機－04	建物配置図	1/500	機－29	改修前1階平面図 空調設備	1/150
機－05	衛生器具表 給排水設備	－	機－30	改修前2階平面図 空調設備	1/150
機－06	改修後1階平面図 給排水設備	1/150	機－31	改修前3階平面図 空調設備	1/150
機－07	改修後2階平面図 給排水設備	1/150	機－32	改修前1階平面図 換気設備	1/50
機－08	改修後3階平面図 給排水設備	1/150	機－33	改修前2階平面図 換気設備	1/150
機－09	特別教室棟1階便所(改修前・改修後)平面詳細図 給排水設備	1/50	機－34	改修前3階平面図 換気設備	1/150
機－10	特別教室棟2階便所(改修前・改修後)平面詳細図 給排水設備	1/50	機－35	改修前1階平面図 自動制御設備	1/150
機－11	普通教室棟1階西側便所(改修前・改修後)平面詳細図 給排水設備	1/50	機－36	改修前2階平面図 自動制御設備	1/150
機－12	普通教室棟2・3階西側便所(改修前・改修後)平面詳細図 給排水設備	1/50	機－37	改修前3階平面図 自動制御設備	1/150
機－13	普通教室棟1階東側便所(改修前・改修後)平面詳細図 給排水設備	1/50	機－38	保温施工標準図	－
機－14	普通教室棟2・3階東側便所(改修前・改修後)平面詳細図 給排水設備	1/50			
機－15	機器表 空調換気設備	－			
機－16	改修後1階平面図 空調設備	1/150	意－06	建物配置図(参考図)	1/500
機－17	改修後2階平面図 空調設備	1/150	意－12	改修後1階平面図(参考図)	1/200
機－18	改修後3階平面図 空調設備	1/150	意－14	改修後2階平面図(参考図)	1/200
機－19	改修後1階平面図 換気設備	1/150	意－16	改修後3階平面図(参考図)	1/200
機－20	改修後2階平面図 換気設備	1/150	意－18	改修後塔屋階平面図(参考図)	1/200
機－21	改修後3階平面図 換気設備	1/150	意－20	改修後1階天井伏図(参考図)	1/200
機－22	改修後1階平面図 自動制御設備	1/150	意－22	改修後2階天井伏図(参考図)	1/200
機－23	改修後2階平面図 自動制御設備	1/150	意－24	改修後3階天井伏図(参考図)	1/200
機－24	改修後3階平面図 自動制御設備	1/150	意－26	改修後塔屋階天井伏図(参考図)	1/200
機－25	機器表(既設) 空調換気設備	－	意－28	改修後立面図(参考図)	1/200

発注者 東 近 江 市

設計者 株式会社 創作舎

[illegible]

種目

適用

項目

特記事項

⑧換気設備

工事範囲及び説明

本工事は改修に伴う換気設備改修工事を行う。

送風機
ダクト
ダクトの工法
厨房用>1'の材質
外壁用>1'の材質
外壁用>1'の塗装
その他

○天井埋込型換気扇・換気扇・有圧換気扇・ストレートシロッコファン・レンジフード
・全熱交換ユニット・バイブファン・エアークレナ・中間ダクトファン
・亜鉛引鉄板・ステンレス鋼板・グラスワールダクト・サイレントフレキダクト・アルミフレキダクト
・塩化ビニル(Ⅱ)・亜鉛引鉄板製スパイラルダクト・保温付きフレキシブルダクト
・アングル工法・コーナーボルト工法
・亜鉛引鉄板・ステンレス
・アルミ○ステンレス
○メーカー標準色・指定色塗付
・厨房用における排気フード及び排気ダクトの仕様は、火災防炎条例に基づく。

○送風機継付については、防音、防振に注意して施工する。
○シックハウス用換気機器のスイッチには、「24時間換気」である旨の表示を行う。
表示機器は、全ての居室とする。詳細は、監督職員との協議による。
○下記のダクトには、防露工事を行う。
①全熱交換ユニットにおける本体から外壁までの排気ダクト及び全ての給気ダクト
②排気ダクトにおける外壁から1m部分
③給気ダクト
④ガリラックス

9排煙設備

工事範囲及び説明

排煙機
排煙方式

A方式＝手動操作→排煙ダンパー→自動起動機→排煙機
B方式＝煙感感知→中継器
手動操作→排煙ダンパー→自動起動機→排煙機

⑩暖房設備・空調設備

工事範囲及び説明

設計温度条件

場所	屋外	屋内
時期	温度<DB>	温度<RH>
夏期	℃	℃
冬期	℃	℃

方式
熱源
熱源機器
空気調和機
配管材料
ダクト材料
ダクトの工法
放熱器
保温・保冷
自動制御
中央監視
床暖房
油の種類
オイルタンク
材料の仕様
その他

○個別方式・中央方式・マルチ方式・中央個別方式
○電気・灯油・A重油・都市ガス・プロパンガス
・空冷式チリングユニット・吸気式冷凍機・空冷式蓄熱ユニット
・温水ボイラ・温水発生機・ヒートポンプチャージ
・ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット・ファンコンベクター
・電気式ヒートポンプエアコン(床置型)・コンベクター○電気式ヒートポンプエアコン・ルームエアコン
・湯気暖房機・ガス式ヒートポンプエアコン・電気パネルヒーター・灯油ヒートポンプエアコン
冷水水管・水道用亜鉛メッキ鋼管・断熱性ビニルライニング鋼管
冷却水管・ビニルライニング鋼管・VA、ポリ粉体ライニング鋼管・PA、塩化ビニル管(H1V4)
冷暖配管・断熱鋼管・断熱材被覆鋼管・メーカー標準仕様書
排水配管・硬質塩化ビニル管・VP

油配管：SUS304溶接鋼管、圧力配管用低合金鋼管(黒)
・亜鉛引鉄板・サイレントフレキダクト・亜鉛引鉄板製スパイラルダクト
・グラスワールダクト・アルミフレキダクト・ステンレス板
・アングル工法・コーナーボルト工法
ファンコイルユニット、ファンコンベクター、コンベクター、ベースボードヒータ
施工は、標準図(公共建築工事標準仕様書)による。
本工事では、次の制御を行う。
中央監視器を設け、システムの集中運転監視を行う。
・温水式(熱源：LPG)・電気式
・軽油・灯油・A重油
・地中埋設型容量：
・鋼板製ホムタンク容量：
・鋼板製一体型容量：
図中の冷暖配管サイズは、参考とし、使用メーカーの基準により施工する。
空調室外機に機器記号及び系統名を明示する。

11し尿浄化槽設備

工事範囲及び説明

配管材料
構造
処理方式
容量
処理水量
その他

屋内埋設・耐衝撃性硬質塩化ビニル管(H1V4)※ろ過機設置用配管
・ビニルライニング鋼管(V4S)※ブルーリボン配管
地上式・地下式・半地下式()製
接触曝気式・長時曝気式・式
JIS()人()m³/DAY
BOD(ppm)、SS(ppm)、N(ppm)、P(ppm)
別図仕様仕様にによる。

12ブルー循環濾過設備

工事範囲及び説明

ろ過方式
ろ過配管材料
注記事項

・砂・建築土・カートリッジ
循環濾過配管(埋設)・耐衝撃性硬質塩化ビニル管(H1V4)
オーバーフロー配管(埋設)・硬質塩化ビニル管(VP)
排水配管(埋設)・硬質塩化ビニル管(VP)

13特殊配管設備

工事範囲及び説明

保溫工事
配管材料
水圧、気密試験

ごみ処理設備、エア配管設備、冷却水配管設備、油圧配管設備
エア配管：
冷却水配管：
配管材料：
施工は、標準図による。
水圧、気密試験を行い漏水のないようにする。

⑭撤去工事

工事範囲及び説明

特記事項

・残骸状況を十分に調査、把握した上で施工に当たること。また、図示以外の機器で撤去、移設が必要なものは、監督職員と協議し、全て本工事にて処理すること。
・本工事にて撤去した機器、配管、ダクト等は、関係法令に基づき適正に処分すること。

⑮アスベスト解体工事

工事仕様

事前調査
分析調査
事前説明
システムによる報告
届出
立会
石綿粉じん濃度測定
管理責任者
石綿含有有効付付材
石綿含有保溫材等
石綿含有成形板等
石綿含有仕上塗材
報告書

・本特記仕様書によるほか、厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課及び環境省水・大気環境局大気環境課がとりまとめた「建築物等の解体等に係る石綿及び石棉繊維防止対策徹底マニュアル」及び東近江市の「石綿含有建材等の除却等を伴う解体工事の手引き」による。
※事前調査は建築物石綿含有建材調査者の資格を有すること。(解1.4.1)
調査範囲※本工事の対象となる範囲全て
・新築設計図書○石綿含有分析結果書・その他()
○本工事の除去等作業に伴い、石綿含有建材の有無を確認するための分析調査を行うこと。(解1.4.1)
○既に調査した箇所の結果を下記する。

調査箇所	結果	備考
屋外・外壁・柱・吹付タイル・下地調整材	下地調整材	Ch r
屋外・外壁・タイル目地・下地モルタル	不検出	
屋内・場所・天井・化粧せこうボード	不検出	
屋内・コンピューター室・天井・岩綿吸音板・せこうボード	不検出	
屋内・コンピューター室・天井・内装・化粧せこうボード	不検出	
屋内・コンピューター室・壁・内装・内装材・下地調整材	不検出	

○上記以外に隣接にても箇所の分析調査を行うこと。
○基本、鉄・木・ガラス以外は石綿含有材として適切に解体・処分を行うこと。

・「解体等工事に係る事前調査報告書」により事前調査について説明を行うこと。
(「石綿含有建材の除去等に伴う解体工事の手引き」参照)
・石綿事前調査結果報告システムにより事前調査結果を知事及び労働基準監督署に報告すること。
・東近江環境事務所と協議の上、「特定粉じん排出等作業実施届出書」(2部)を作成し、監督職員に提出すること。
・「特定粉じん排出等作業実施届出書」に伴う東近江環境事務所の現場審査に立会し、対応を行うこと。
・不検出空間全体からの石綿調査及び確認のための石綿濃度の測定を行うこと。(解6.1.3)

測定時期測定場所測定点数備考
知理作業前石綿除去作業場内敷地の境界又は施工区域境界4
知理作業中石綿除去作業場内セキュリティゾーン入口負圧除じん装置の排出口敷地の境界又は施工区域境界4
知理作業後石綿除去作業場内敷地の境界又は施工区域境界4
・アスベスト粉じん濃度測定の時限等は、国連交通大臣官務官庁警務部警務「建築物解体工事内塵基準値・同解説(平成24年版)」の解説6.1.3を参照すること
・環境省の「アスベストモニタリングマニュアル(第4.2版)」に定めた測定方法により実施すること。
・特別管理建築物管理責任者を委任すること。(解6.3.1-4)

石綿含有有効付付材の処理等(解6.3.1-4)
箇所又は室名使用箇所参考数量使用材料名備考
除去方法※飛散抑制剤等により湿潤化した後に除去
・飛散抑制措置※湿潤化・固定化(解6.3.2)
処分方法※埋立処分(a)・中間処理(b)(解6.3.3)

石綿含有保溫材等の処理等(解6.4.1-4)
箇所又は室名使用箇所参考数量使用材料名備考
除去方法・切断又は破壊して除去(解6.3.2)
・原形のまま手ばらし(解6.3.2)
・封じ込め工法
・囲い込み工法
・グローブバッグを使用して除去
飛散抑制措置※湿潤化・固定化(解6.5.1)
処分方法※埋立処分(a)(b)①・中間処理(a)(b)②(解6.5.3)
石綿含有仕上塗材の処理等(解6.6.1-6)
箇所又は室名使用箇所参考数量使用材料名備考
除去方法・高圧水洗工法
・剥離剤を用いる工法
・電気グラインダー等を使用する工法
・ウォータークリーン工法(解6.6.1)
除去後の処理※埋立処分(a)(b)①・中間処理(a)(b)②(解6.6.3)
処分方法※汚泥処理(解6.6.4)
・石綿含有建材の除去等作業、廃石綿等の処分後には、「石綿含有建材の除去等に伴う解体等工事の手引き」に基づき作業記録報告書(1部)を作成し、提出すること。
・「特定粉じん排出等作業完了報告書」(2部)を作成し、監督職員に提出すること。
・「作業完了報告書」を作成し、東近江労働基準監督署に提出すること。

使用機材製造者指定

本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用すること。ただし、同等品を使用する場合には、建築師所定の様式により承諾を得て使用すること。

適用	機材名	製造業者
○	鋼管	日本工業規格(JIS規格)
○	塩化ビニル管	日本工業規格(JIS規格)、日本水道管協会規格(WSP規格)
○	排水用塩化ビニル管	日本水道管協会規格(WSP規格)
○	コーティング鋼管	日本水道管協会規格(WSP規格)
○	ポリ塩化ビニル管	日本水道管協会規格(JVWA規格)、日本水道管協会規格(WSP規格)
○	外装被覆鋼管	日本水道管協会規格(WSP規格)
○	ステンレス鋼管	日本工業規格(JIS規格)
○	鋼管	日本工業規格(JIS規格)、日本水道管協会規格(JVWA規格)
○	鉛管	日本工業規格(JIS規格)
○	銅管	(注)窒素処理・衛生工学会規格(SHASE規格)
○	鋳造鋼管	日本工業規格(JIS規格)、日本水道管協会規格(JVWA規格)
○	ビニル管	日本工業規格(JIS規格)、日本水道管協会規格(JVWA規格)
○	ポリエチレン管	日本工業規格(JIS規格)
○	炭素ポリエチレン管	日本工業規格(JIS規格)
○	ポリブテン管	日本工業規格(JIS規格)
○	コンクリート管	日本工業規格(JIS規格)
○	弁類	日本工業規格(JIS規格)、(注)日本バルブ工業会規格(JV規格)
○	フレキシブルジョイント(SUS)	テクノフレックス・トーフレ・フシマン・本山製作所・ヨシタケ
○	フレキシブルジョイント(ゴム)	豊成化工・ゼンシン・東洋ゴム化工品・TOZEN・内外ゴム
○	量水器	愛知時計電機・アズビル金門・東洋計器
○	温水発生機	川重冷熱工業・巴南会・日本サーモエナジー・ヒラカワ・三清工業
○	冷凍機	在留製作所・川重冷熱工業・パナソニック・日立・矢崎総業
○	冷却塔	空研工業・日立・三菱電機
○	EHP	ダイキン工業・東芝キャリア・日立・パナソニック・三菱電機
○	GHP	アイシン精機・ダイキン工業・パナソニック・三菱重工・ヤンマー
○	ファンコイル	木村工業・昭和精工・新菱工業・ダイキン工業・東芝キャリア
○	ポンプ	法保製作所・川本製作所・テラル・日立
○	全熱交換機	ダイキン工業・東芝キャリア・パナソニック・三菱電機
○	送風機	法保製作所・テラル・パナソニック・三菱電機
○	換気扇	東芝キャリア・日立・パナソニック・三菱電機
○	ベントキャップ	東芝キャリア・日立・パナソニック・三菱電機
○	吹出口類・ダンパー類	協立エテック・空研工業・ダイリツ
○	衛生器類	TOTO・LIXIL
○	ガス沸湯器	大飯ガス・ノーリツ・パナソニック・パロマ・リンナイ
○	電気温水器	TOTO・日本イトミック・LIXIL
○	受水槽・貯湯槽	積水アークシステム・ベルテクノ・ホーコス・三菱電機
○	断熱水槽・消火栓水槽	島倉鉄工所・ベルテクノ・ホーコス・三菱電機
○	消火機器	立発新製作所・北津製作所・初田製作所・機外製作所
○	水栓・柱	カワダイ・タネロン・三栄水栓製作所・タネロン・前澤化成工業
○	排水金具	小島製作所・ダイトレ・長谷川鉄工所・坂西鉄物・ホーコス
○	水口取替	アロン化成・タネロン・積水化学工業・前澤化成工業
○	弁まよう及び重	小島製作所・ダイトレ・長谷川鉄工所・坂西鉄物・ホーコス
○	グリース阻集器	下田エコテック・ダイトレ・長谷川鉄工所・坂西鉄物・ホーコス
○	ガス器具類	伊藤工業・富士工業・矢崎総業
○	弁・化槽	カボタ・ダイワ化成・ニコロー・前澤化成工業
○	自動制御機器	アズビル・ジョンソン・パナソニック
○	床暖房設備	A・A・N・マックス・パナソニック電気
○	ろ過器	三菱ろ過・成研・東洋ロムプス・ミウラ化学設備

◆備考◆

製図
最終日
最新日

1回目 R○.○.○
2回目
3回目
4回目

5回目
6回目
7回目
8回目

◆設計事務所◆
株式会社 創作舎
TEL 0748-42-5611
FAX 0748-42-6080

◆発注者◆
東近江市
TEL 0748-24-1234
FAX 0748-24-0752

◆工事名称◆
市立能登川東小学校
大規模改修工事(機械設備工事)

◆図面◆
機械工事特記仕様書(2)

◆縮尺◆
縮尺者
縮尺者
縮尺者
縮尺者

機-02
◆図面番号◆

工事区分表

以下の項目は○印部分を区分して施工する。ただし、図面その他に特記のあるものは、それに従う。

	工事項目	建築	電気	機械		別途	備 考		工事項目	建築	電気	機械		別途	備 考
①	船体貫通スリーブ及び箱入れ、穴埋め補修	○	○	○				5 6	電動ブラインド・電動バトン・電動スクリーン用配線工事（1次・2次）及びリモコン取付け		○				
②	設備用船体貫通の補強筋及び開口部補強筋	○						5 7	造り付け家具、備品の製作・設置	○					
3	地下消火水槽、蓄熱槽等の船体内外防水仕上、マンホール、タラップ、通水管							6 8	カーテン、カーテンボックス	○					
④	点検口の製作取付け（床、壁、天井）	○						6 9	サイン	○					
5	吹出口、吸込口、照明器具、スピーカー等の埋込器具取付けのための穴開け、補強	○						6 0	コーナークバー	○					
6	建物外壁に取付く給排気ガラの製作取付け	○				（フィルター：機械）		6 1	プール	○					
⑦	建具ガラの製作取付け	○						6 2	プールの給水・排水	○		○			
⑧	防火区画、防火上主要間仕切り貫通部処理		○	○				6 3	床暖房の給湯器用のコンセント取付け		○				
⑨	その他設備機器用基礎及び仕上げ	○						6 4	床暖房の二次側配管、配線、リモコン用配管、配線			○			
⑩	設備機器用既製品基礎・鉄骨架台基礎		○	○				6 5	F F式暖房器具の一次配管、配線		○				
⑪	設備機器取付けに伴うアンカーボルト取付け及び穴埋め補修		○	○				6 6	F F式暖房器具の二次配管、配線			○			
1 2	受水槽及びポンプ室付受水槽							6 7	ガス漏れ警報器の配管、配線、取付け		○				
1 3	高架水槽			○		補充水槽		6 8	自家発電機の取付け			○			
1 4	L P Gバルクタンク等ペーパライザー			○				6 9	自家発電への配管、入線		○				
1 5	各種水槽の電極棒及び配管、配線工事		○	○				7 0	シャワーユニットの一次側給水配管、給湯配管			○			
1 6	全上電極座及び電極棒の調整			○				7 1	シャワーユニットの給水配管、給湯配管の接続	○					
1 7	消火水槽			○				7 2	シャワーユニットの一次側配管、配線		○				
1 8	グリース阻集器（補強工事とも）			○				7 3	シャワーユニットの二次側配管、配線		○				
1 9	既製品流し、ガス台、吊り戸棚、水切り棚	○						7 4	全上機器の取付け	○					
2 0	I Hコンロ		○					7 5	しゅん工引渡しまでの工事用、調整用電気、水道、ガス等の基本料金、使用料	○	○	○			
2 1	電気温水機		○					7 6	諸官庁等の検査、その他必要な検査の申請手続	○	○	○			計画通知に係る手続は、 監理者によるものとする。
2 2	既製品流しの排水金物			○				7 7	機械設備機器の一次側、二次側の配線、接続		○				
2 3	造り付流しの排水金物			○				7 8	発電機の設置、試運転、調整			○			
② 4	洗面器、便所に取付の既製品防錆鍍			○				7 9	発電機の一次側、二次側の配線、接続		○				
② 5	洗面器、便所に取付の大型製作防錆鍍	○						8 0	本工事に伴う各設備の引込負担金					○	
② 6	洗面化粧台及び鏡			○				8 1	E V工事における各階出入口の孔あけ工事	○					
② 7	便器、手洗い廻りの手摺			○		下地補強は建築工事		8 2	E V工事における各階乗場出入口周囲のモルタル詰め又はロックウール詰め工事	○					
② 8	小便器自動洗浄用の側電源配管、配線工事		○					8 3	E V工事における乗場据付け後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上げ工事	○					
2 9	フードの製作取付け			○				8 4	E V工事における屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ工事	○					
3 0	防火戸、防煙、防火シャッターの一次側配管、配線		○					8 5	E V工事におけるビット内防水及び埋め戻し工事	○					
3 1	防火戸、防煙、防火シャッターの二次側配管、配線、開放装置、調整	○						8 6	E V工事における受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み及びつなぎ込み工事		○				
3 2	全上用の煙感知器連動装置、制御盤		○					8 7	E V工事におけるインターホン・非常ベル、その他 E V に必要な配管配線設備		○	○			
3 3	昇降機	○						8 8	E V 工事におけるビット点検用コンセント設備工事		○				
3 4	昇降機の入出口三方枠カゴ内インターホン取付け及び二次側配管配線、制御盤	○						8 9	E V 工事における昇降路頂部の煙感知器設置工事（昇降路頂部から点検が可能）		○				
3 5	昇降機の一次側配管、配線工事		○					9 0	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用における吊りボルト及びインサート		○	○			
3 6	防犯用配管工事		○					9 1	テレビ・エアコン等のリサイクル料					○	
3 7	全上入線（電源送り）及び機器取付					○		9 2	じゅへんでん更新時の検査・試験費用		○				
3 8	フラッグポール	○													
3 9	雨水排水の会所側、排水管	○													
④ 0	ルーフドレン及び堅樋配管工事	○													
4 1	汚水、雑排水の会所側、排水管			○											
4 2	消火器・消火器収納ボックス	○													
4 3	電話機器		○												
4 4	C A T V		○												
4 5	テレビ共聴受信		○												
④ 6	エアコン用スリーブ			○											
④ 7	空調リモコンの配管、配線工事（集中管理リモコンとも）及び試運転調整			○											
④ 8	空調機電源供給工事（室内機・室外機）		○			冷媒配管に共巻き									
④ 9	空調機室内機から室外機間張り配線工事			○											
⑤ 0	換気扇及び換気扇取付枠			○											
⑤ 1	天井扇、ダクト、ガラリ、ベントキャップ			○											
⑤ 2	天井扇、換気扇、サイクル扇のスイッチ取付け工事			○											
5 3	湯沸器本体及び壁取付け用部材			○											
5 4	給湯リモコン用配管、配線工事及びリモコン取付け			○											
5 5	電動ブラインド・電動バトン・電動スクリーン取付け工事	○													

設備用の開口補強数量表

1 設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋

(1) 梁貫通補強筋（貫通孔 D／3 以下、梁巾－ 4 0 0 以下の場合、Dは梁せい）

貫 通 内 径（φ）	数 量	備 考

※貫通内径 1 0 0 φ未満の時は補強を必要としない。（ H：貫通内径 mm ）

(2) 壁開口補強筋

開 口 面 積（㎡）	数 量	備 考

※壁筋を切断しない場合は補強を必要としない。（ A：開口面積 ㎡ ）

2 設備用下地材開口補強

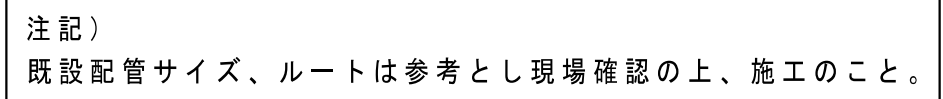
(1) 壁開口補強 経量鉄骨壁下地、本軸等

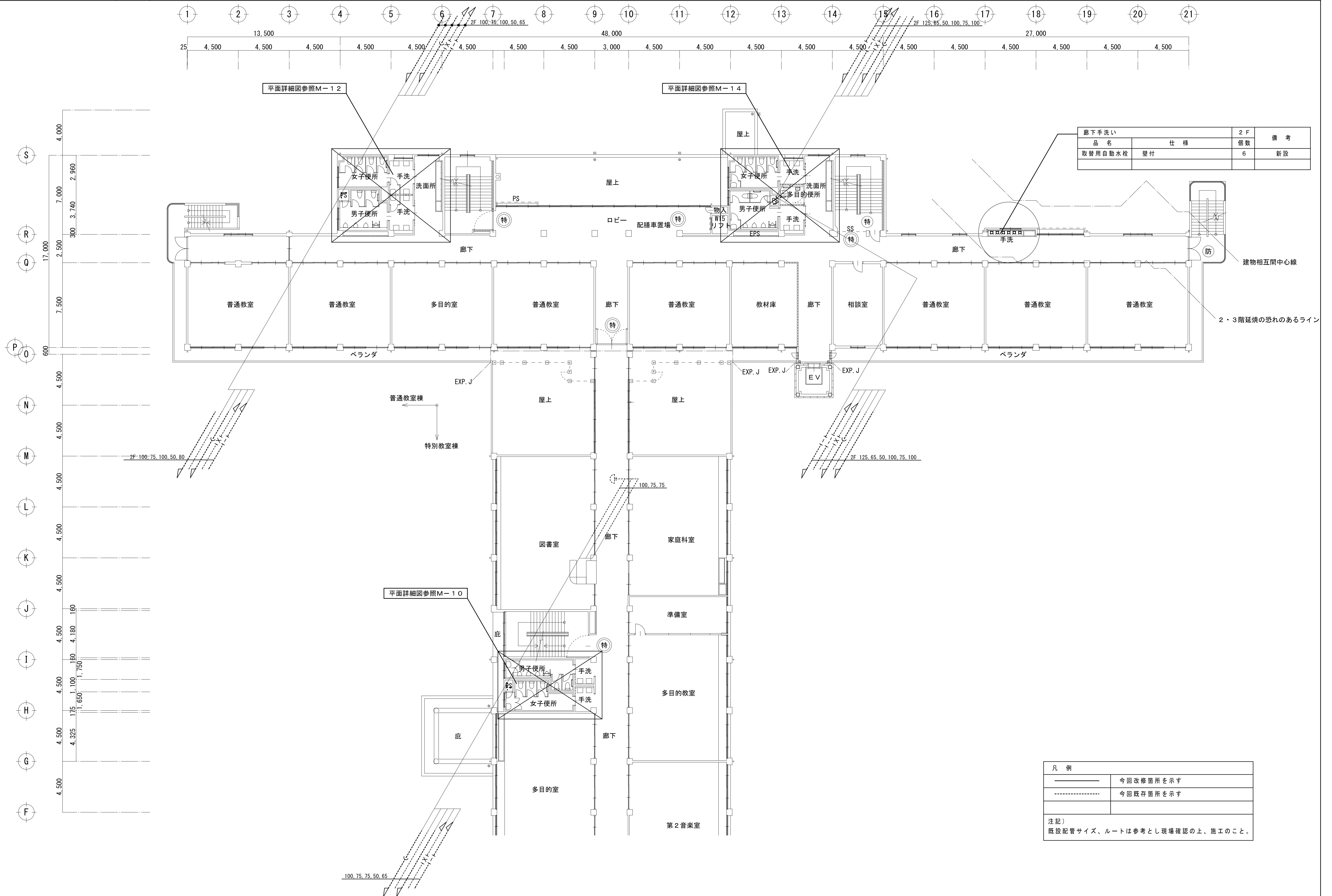
開 口 寸 法	数 量	備 考

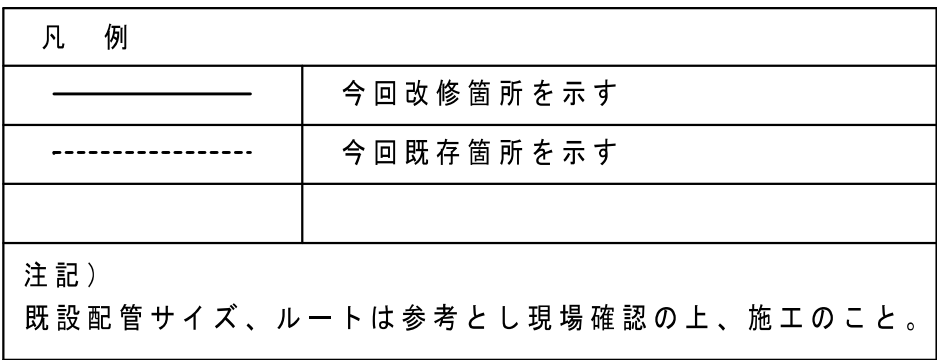
(2) 天井開口補強

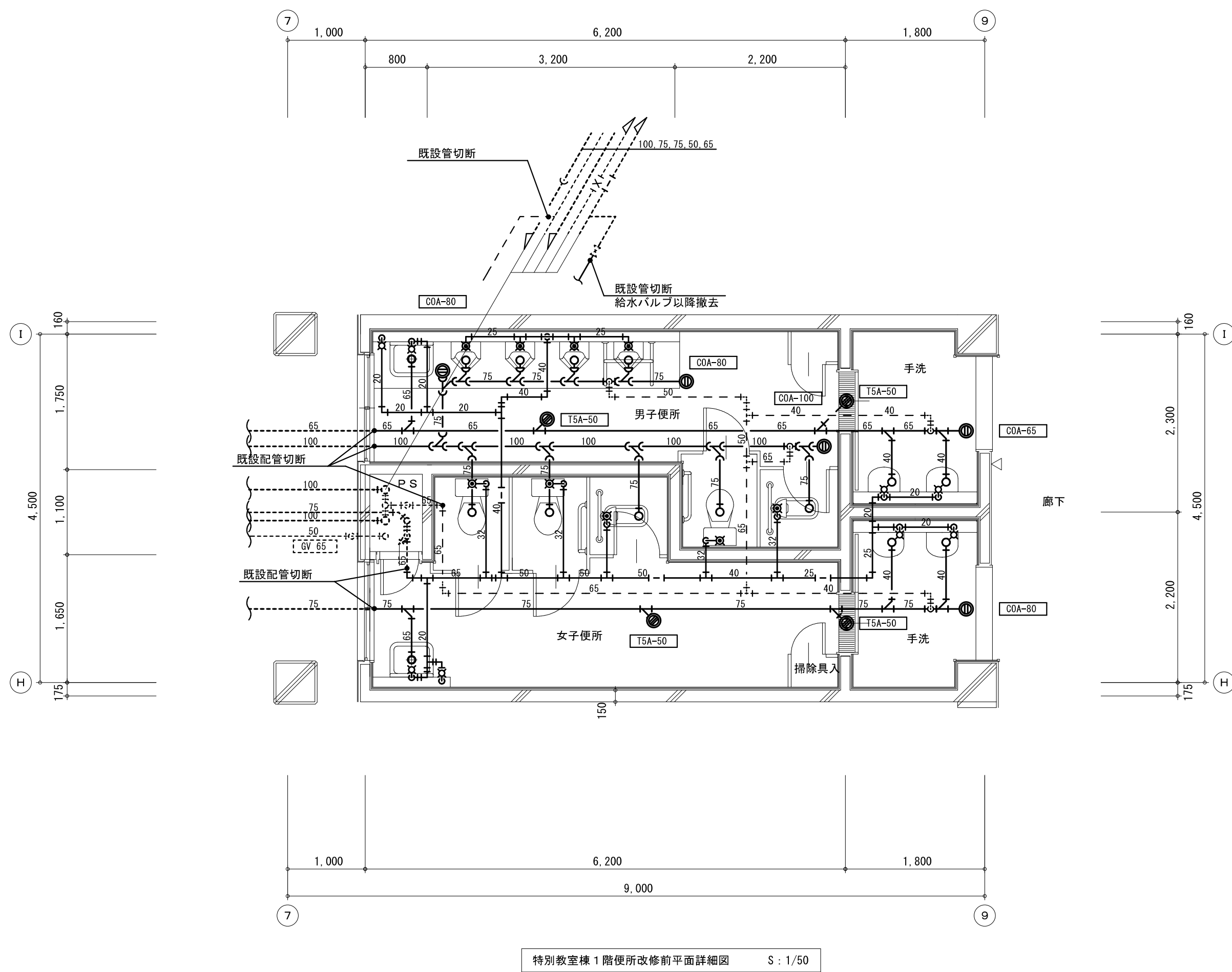
開 口 寸 法	数 量	備 考
450×450	7 0 箇所	天井点検口
910×910	2 箇所	天井カセットエアコン

着工						株式会社 創 作 舎	作 成	名 称	市立能登川東小学校大規模改修工事(機械設備工事)	図 章
竣工							2026.03.15			
施工							証 印	園 名		
							1級建築士登録 第248195号 小杉光史	工事区分表		機 - 03



[illegible]





男子便所・手洗			1 F	備 考
品 名	仕 様		個 数	
和風大便器	F V	紙巻器共	1	撤去
洋風便器	F V	紙巻器共	1	撤去
小便器			4	撤去
小便器用手すり			1	撤去
和便器用手すり			1	撤去
L 形手すり			1	撤去
掃除流し			1	撤去
洗面器			2	撤去
化粧鏡			2	取外し（再利用）

女子便所・手洗			1 F	備 考
品 名	仕 様		個 数	
和風大便器	F V	紙巻器共	1	撤去
洋風便器	F V	紙巻器共	2	撤去
和便器用手すり			1	撤去
L 形手すり			1	撤去
掃除流し			1	撤去
洗面器			2	撤去
化粧鏡			2	取外し（再利用）

凡 例	
	今回撤去箇所を示す
	今回既存箇所を示す
 	今回手はつり箇所を示す
	今回既設切断箇所を示す

注記)

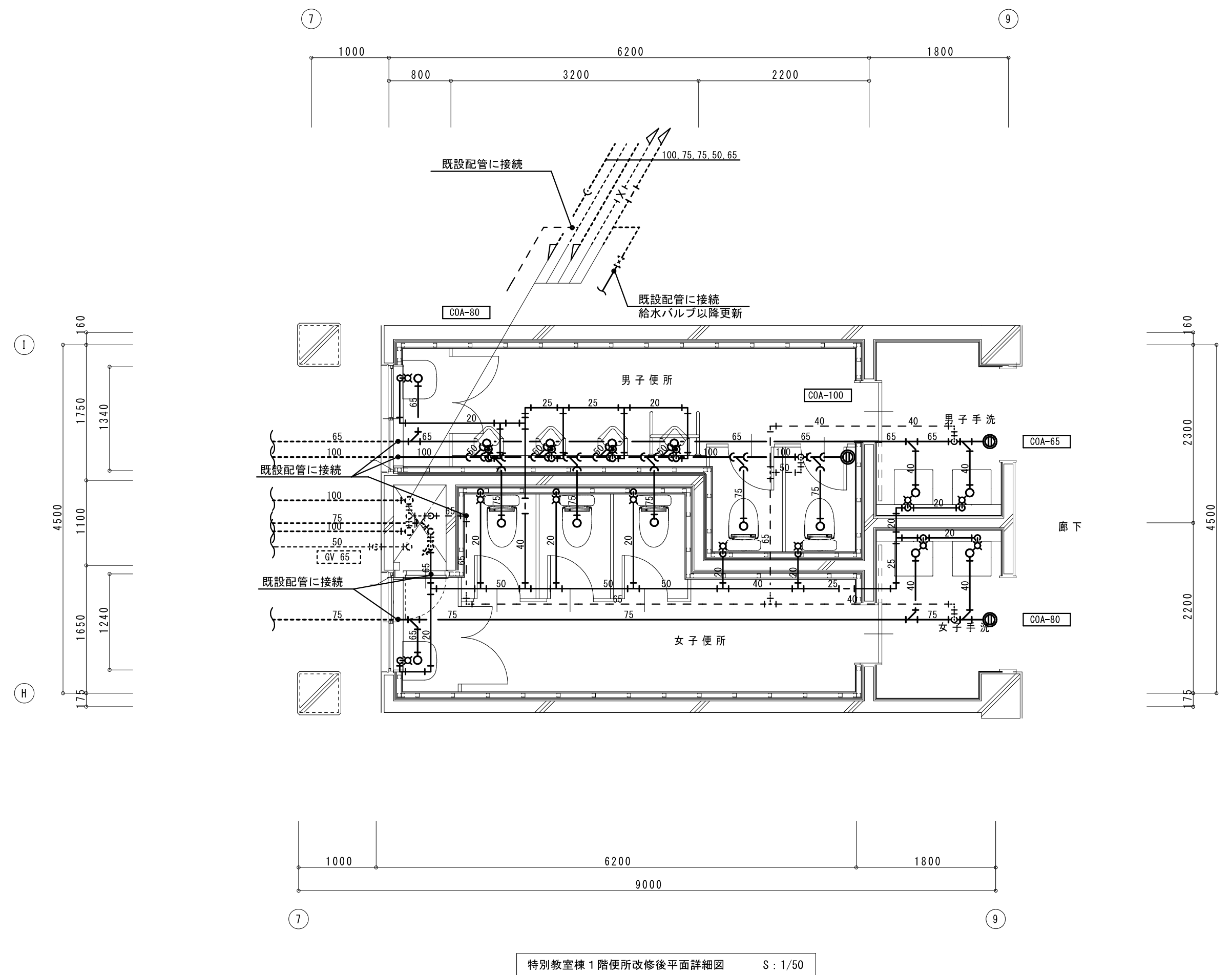
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。

既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。

土間はり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

床はり復旧、天井解体復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

和便器床開口補修は建築工事とする。

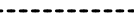


男子便所・手洗		1 F	備 考
品 名	仕 様	個数	
化粧鏡		2	再取付

* 新設器具は衛生器具表参照（手すり共本工事）

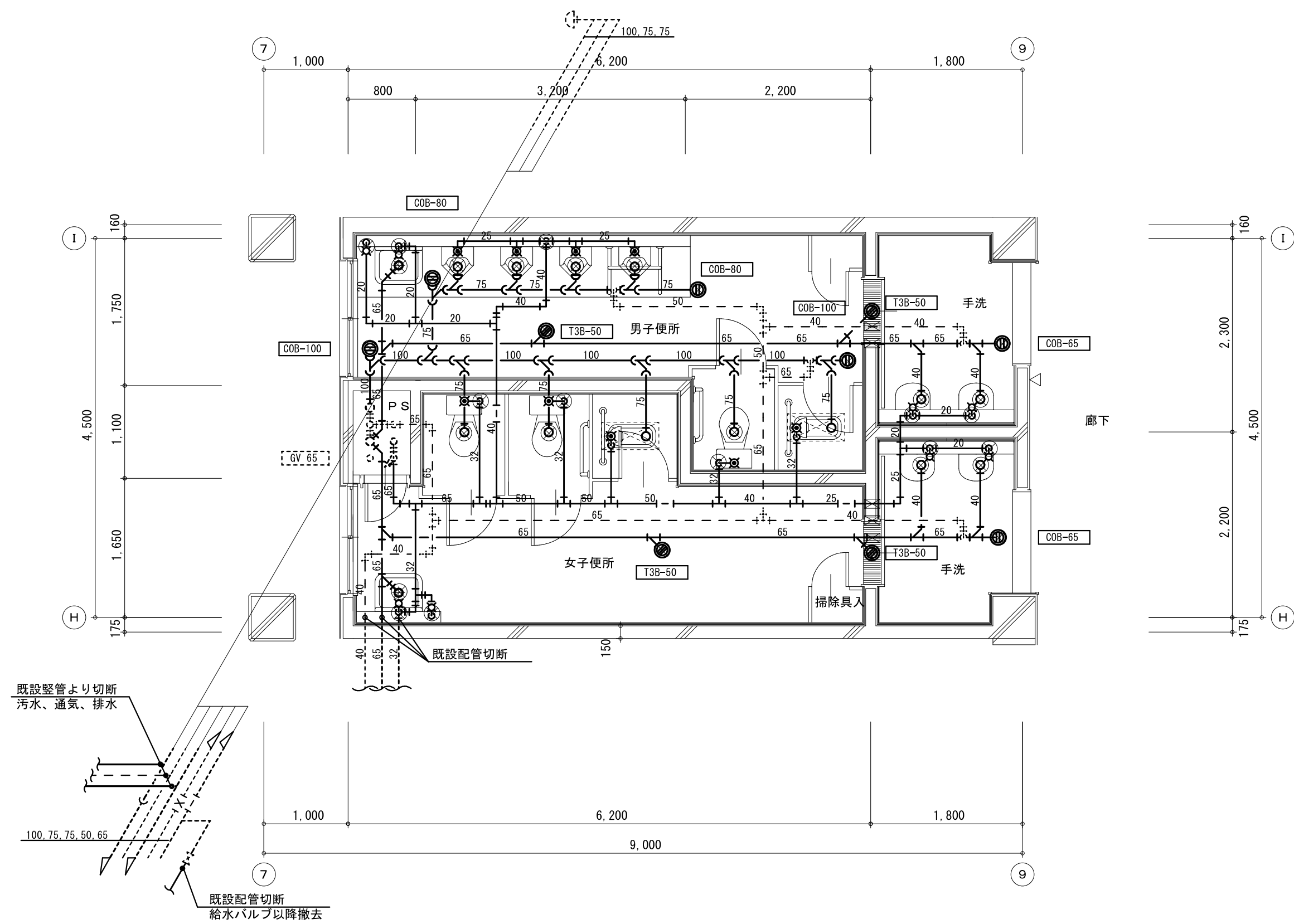
女子便所・手洗		1 F	備 考
品 名	仕 様	個数	
化粧鏡		2	再取付

* 新設器具は衛生器具表参照（手すり共本工事）

凡 例	
	今回改修箇所を示す
	今回既存箇所を示す
	コア抜き補修箇所を示す（鉄筋探査共）
	既設手はつり穴流用箇所を示す
	今回既設接続箇所を示す

注記
 既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
 床下より復旧、仕上り補修は建築工事とする。
 配管貫通口は極力既設手はつり穴を流用するものとする。

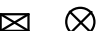
特記事項	
1)	配管等改修工事の際、天井貼り替えは建築工事とする。
2)	本工事改修前に於ける移送再使用の機器、器具は清掃及び点検を行うこと。
3)	床の仕上げ工事は、建築工事で行うこと。
4)	1階便所・手洗床全面はつりは、建築工事とする。
5)	2・3階便所に於ける既設和風大便器→洋風大便器部分の埋め戻しは、建築工事とする。
6)	配管等に伴う躯体貫通は、本工事とする。
その他、図示されていない本工事に伴うつり工事は、本工事で処理すること。	
7)	既設配管等撤去後の不要な穴は、モルタル穴埋めを行うこと。
8)	全て既設等には養生を行い、破壊した際には本工事内で処理すること。
9)	既設配管等位置は、不明な部分もあるため本図は参考とすること。
10)	施工後は、清掃を行うこと。
11)	その他不要な及び、既設品に不良品が有った場合は、監督員の指示に従い処理すること。



特別教室棟 2 階便所改修前平面詳細図 S : 1/50

男子便所・手洗			2 F	備 考
品 名	仕 様		個数	
和風大便器	F V	紙巻器共	1	撤去
洋風便器	F V	紙巻器共	1	撤去
小便器			4	撤去
小便器用手すり			1	撤去
和便器用手すり			1	撤去
L形手すり			1	撤去
掃除流し			1	撤去
洗面器			2	撤去
化粧鏡			2	取外し（再利用）

女子便所・手洗			2 F	備 考
品 名	仕 様		個数	
和風大便器	F V	紙巻器共	1	撤去
洋風便器	F V	紙巻器共	2	撤去
和便器用手すり			1	撤去
Ｌ形手すり			1	撤去
掃除流し			1	撤去
洗面器			2	撤去
化粧鏡			2	取外し（再利用）

凡 例	
	今回撤去箇所を示す
	今回既存箇所を示す
	和便器床開口補修（建築工事）
	今回手はつり箇所を示す
	今回既設切断箇所を示す

注記）

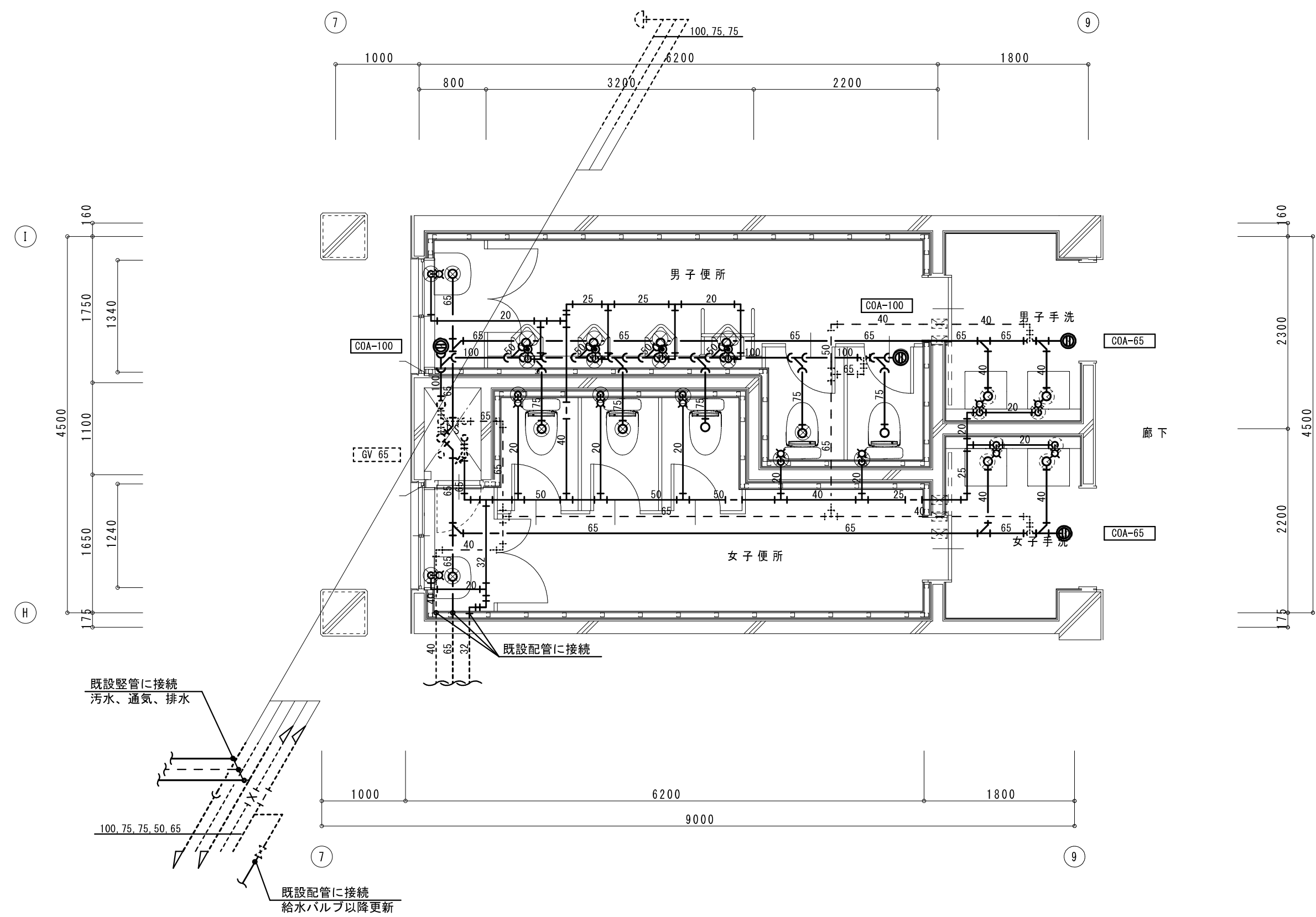
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。

既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。

土間はずり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

床はずり復旧、天井解体復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

和便器床開口補修は建築工事とする。



特別教室棟 2 階便所改修後平面詳細図 S : 1/50

男子便所・手洗			2 F	備 考
品 名	仕 様		個数	
化粧鏡			2	再取付

* 新設器具は衛生器具表参照（手すり共本工事）

女子便所・手洗		2 F	備 考
品 名	仕 様	個数	
化粧鏡		2	再取付

* 新設器具は衛生器具表参照（手すり共本工事）

凡 例	
	今回改修箇所を示す
-----	今回既設箇所を示す
	コア抜き補修箇所を示す（鉄筋探索共）
	既設手はつり穴流用箇所を示す
-----●-----	今回既設接続箇所を示す

（注記）
 既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
 床はつり復旧、仕上れ補修は建築工事とする。
 配管貫通口は極力既設手はつり穴を流用するものとする。

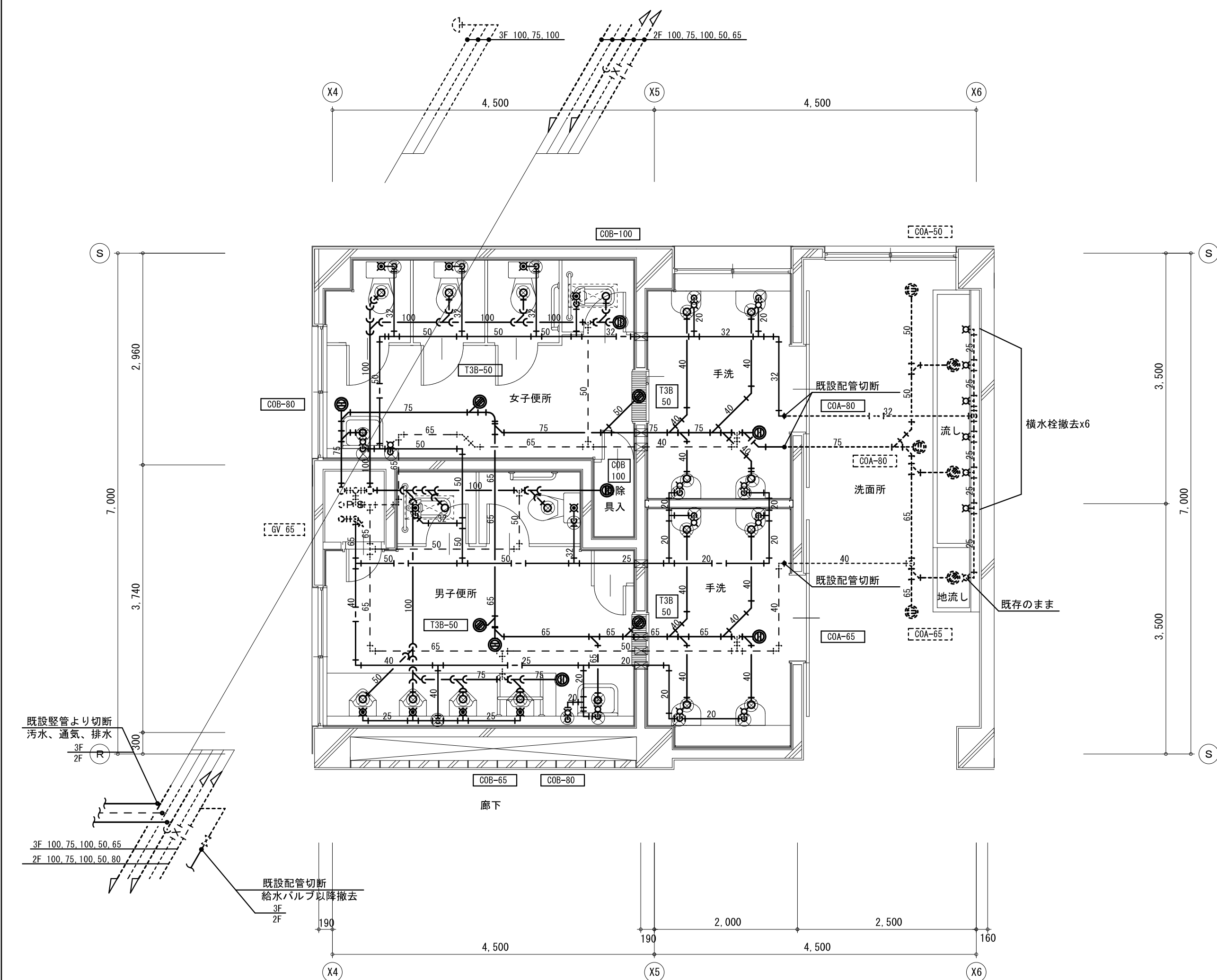
特記事項

- 1) 配管等改修工事の際、天井貼り替えは建築工事とする。
- 2) 本工事改修前に於ける移送再使用の機器、器具は清掃及び点検を行うこと。
- 3) 床の仕上げ工事は、建築工事で行うこと。
- 4) 1階便所・手洗床全面はつりは、建築工事とする。
- 5) 2・3階便所に於ける既設和風大便器・洋風大便器部分の埋め戻しは、建築工事とする。
- 6) 配管等に伴う躯体貫通は、本工事とする。

その他、図示されていない本工事に伴うつり工事は、本工事で処理すること。

既設配管等撤去後の不要な穴は、モルタル穴埋めを行うこと。

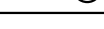
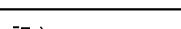
- 8) 全て既設等には養生を行い、破損した際には本工事で処理すること。
- 9) 既設配管位置は、不明な部分もあるため本図は参考とすること。
- 10) 施工後は、清掃を行うこと。
- 11) その他不要な物及び、既設品に不良品が有った場合は、監督員の指示に従い処理すること。



普通教室棟 2、3 階西側便所改修前平面詳細図 S: 1/50

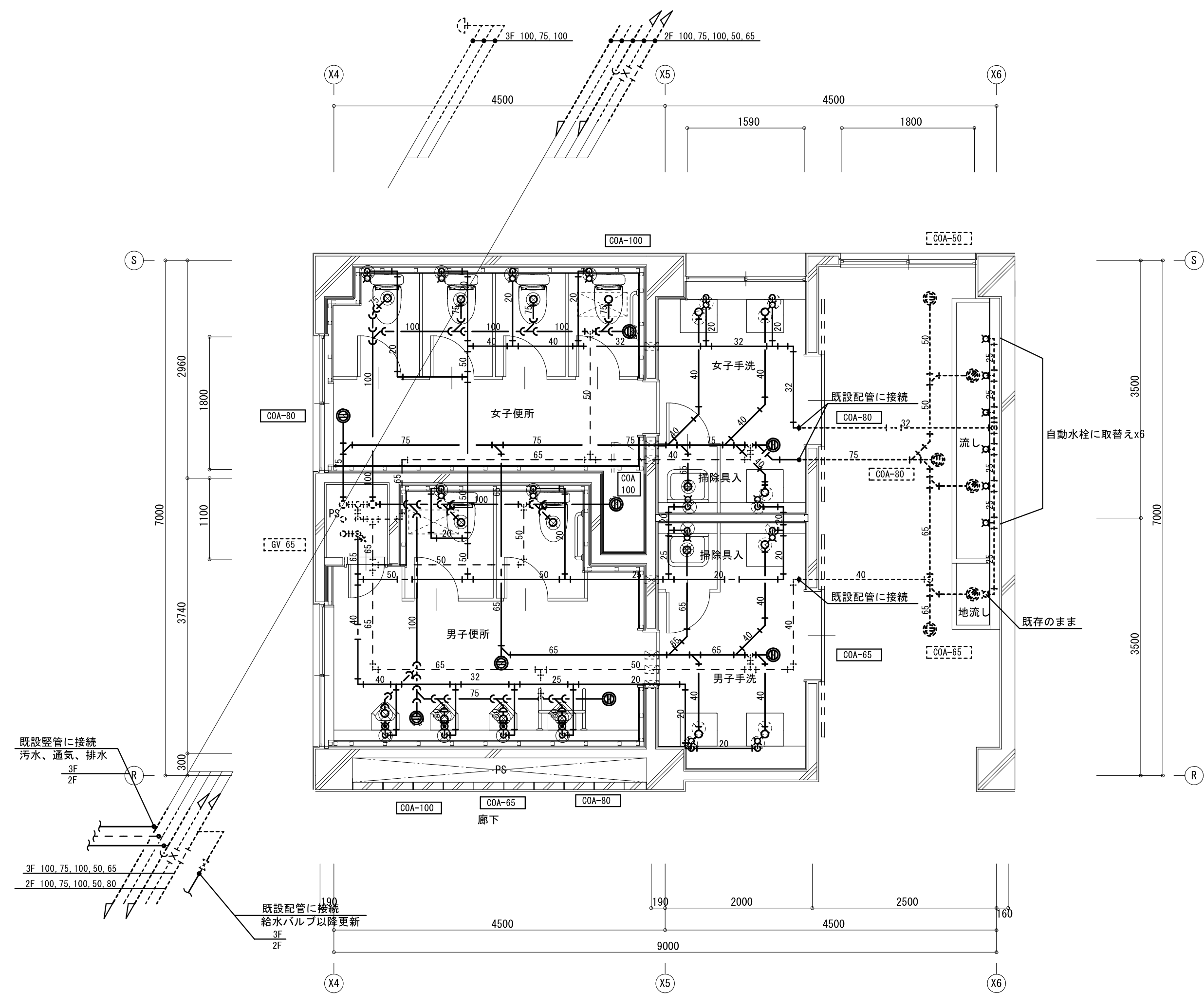
【西側】男子便所・手洗			2 F	3 F	備 考
品 名	仕 様		個数	個数	
和風大便器	F V	紙巻器共	1	1	撤去
洋風便器	F V	紙巻器共	1	1	撤去
小便器			4	4	撤去
小便器用手すり			1	1	撤去
和便器用手すり			1	1	撤去
Ｌ形手すり			1	1	撤去
掃除拭			1	1	撤去
洗面器			4	4	撤去
化粧鏡			4	4	取外し（再利用）

【西側】女子便所・手洗			2 F	3 F	備 考
品 名	仕 様		個数	個数	
和風大便器	F V	紙巻器共	1	1	撤去
洋風便器	F V	紙巻器共	3	3	撤去
和便器用手すり			1	1	撤去
Ｌ形手すり			1	1	撤去
掃除流し			1	1	撤去
洗面器			4	4	撤去
化粧鏡			4	4	取外し（再利用）

凡 例	
	今回撤去箇所を示す
	今回既設箇所を示す
	和便器床開口補修（建築工事）
	今回手はつり箇所を示す
	今回既設切断箇所を示す

注記）
 既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
 既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
 床面はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。
 土間はつり復旧、天井解体復旧、仕上げ補修は建築工事とする。
 和便器床開口補修は建築工事とする。

洗面所		2 F	3 F	備 考
品 名	仕 様	個 数	個 数	
横水栓		6	6	撤去



普通教室棟 2、3 階西側便所改修後平面詳細図 S: 1/50

【西側】男子便所・手洗			2 F	3 F	備 考
品 名	仕 様		個数	個数	
化粧鏡			4	4	再取付

【西側】女子便所・手洗			2 F	3 F	備 考
品 名	仕 様		個 数	個 数	
化粧鏡			4	4	再取付

* 新設器具は衛生器具表参照（手すり共本工事）

* 新設器具は衛生器具表参照（手すり共本工事）

凡 例	
	今回改修箇所を示す
-----	今回既存箇所を示す
	コア抜き補修箇所を示す（鉄筋探索共）
	既設手はつり穴用箇所を示す
-----●-----	今回既設接続箇所を示す

注記）
 既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
 床はつり復旧、仕上り補修は建築工事とする。
 配管貫通口は極力既設手はつり穴を流用するものとする。

特記事項

- 1) 配管等改修工事の際、天井貼り替えは建築工事とする。
- 2) 本工事改修前に於ける移送再使用の機器、器具は清掃及び点検を行うこと。
- 3) 床の仕上げ工事は、建築工事で行うこと。
- 4) 1階便所・水洗床全面はつりは、建築工事とする。
- 5) 2・3階便所に於ける既設和風大便秘器・洋風大便秘器部分の埋め戻しは、建築工事とする。
- 6) 配管等に伴う躯体貫通は、本工事とする。

その他、図示されていない本工事に伴うはつり工事は、本工事で処理すること。

- 7) 既設配管等撤去後の不要な穴は、モルタル穴埋めを行うこと。
- 8) 全て既設等には養生を行い、破壊した際には本工事で処理すること。
- 9) 既設配管位置は、不明な部分もあるため本図は参考とすること。
- 10) 施工後は、清掃を行うこと。
- 11) その他不要な物及び、既設品に不良品が有った場合は、監督員の指示に従い処理すること。

普通教室棟 1 階東側便所改修前平面詳細図 S : 1/50

男子便所・手洗				1 F	備 考
品 名	仕 様		個数		
和風大便器	F V	紙巻器共	1	撤去	
洋風便器	F V	紙巻器共	1	撤去	
小便器			4	撤去	
小便器用手すり			1	撤去	
和便器用手すり			1	撤去	
L 形手すり			1	撤去	
掃除流し			1	撤去	
洗面器			4	撤去	
化粧鏡			4	取外し（再利用）	

凡 例

——

今回撤去箇所を示す

今回既存箇所を示す

☒ ☒

今回手はつり箇所を示す

-----●-----

今回既設切断箇所を示す

注記）
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。
床はつり復旧、天井解体復旧、仕上げ補修は建築工事とする。
和便器床開口補修は建築工事とする。

普通教室棟 1 階東側便所改修後平面詳細図 S : 1/50

男子便所・手洗				1 F	備 考
品 名	仕 様		個数		
化粧鏡			4	再取付	

* 新設器具は衛生器具表参照（手すり共本工事）

凡 例

——

今回改修箇所を示す

今回既存箇所を示す

☒ ☒

コア抜き補修箇所を示す（鉄筋探索共）

☒ ☒

既設手はつり穴流用箇所を示す

-----●-----

今回既設接続箇所を示す

注記）
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
床はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。
配管貫通口は極力既設手はつり穴を流用するものとする。

特記事項

1) 配管等改修工事の際、天井貼り替えは建築工事とする。

2) 本工事改修範囲に於ける移送再使用の機器、器具は清掃及び点検を行うこと。

3) 床の仕上げ工事は、建築工事で行うこと。

4) 1階便所・手洗床全面はつりは、建築工事とする。

5) 2・3 階便所に於ける既設和風大便器→洋風大便器部分の埋め戻しは、建築工事とする。

6) 配管等に伴う躯体貫通は、本工事とする。

その他、図示されていない本工事に伴うはつり工事は、本工事内で処理すること。

7) 既設配管等撤去後の不要な穴は、モルタル穴埋めを行うこと。

8) 全て既設等には養生を行い、破損した際には本工事内で処理すること。

9) 既設配管位置は、不明な部分もあるため本図は参考とすること。

10) 施工後は、清掃を行うこと。

11) その他不要な物及び、既設品に不良品があった場合は、監督員の指示に従い処理すること。

着工

竣工

施工

株式会社 創 作 舎

1級建築士登録 第248195号 小杉光史

作成 2026.03.15

証 印

名 称 市立能登川東小学校大規模改修工事（機械設備工事）

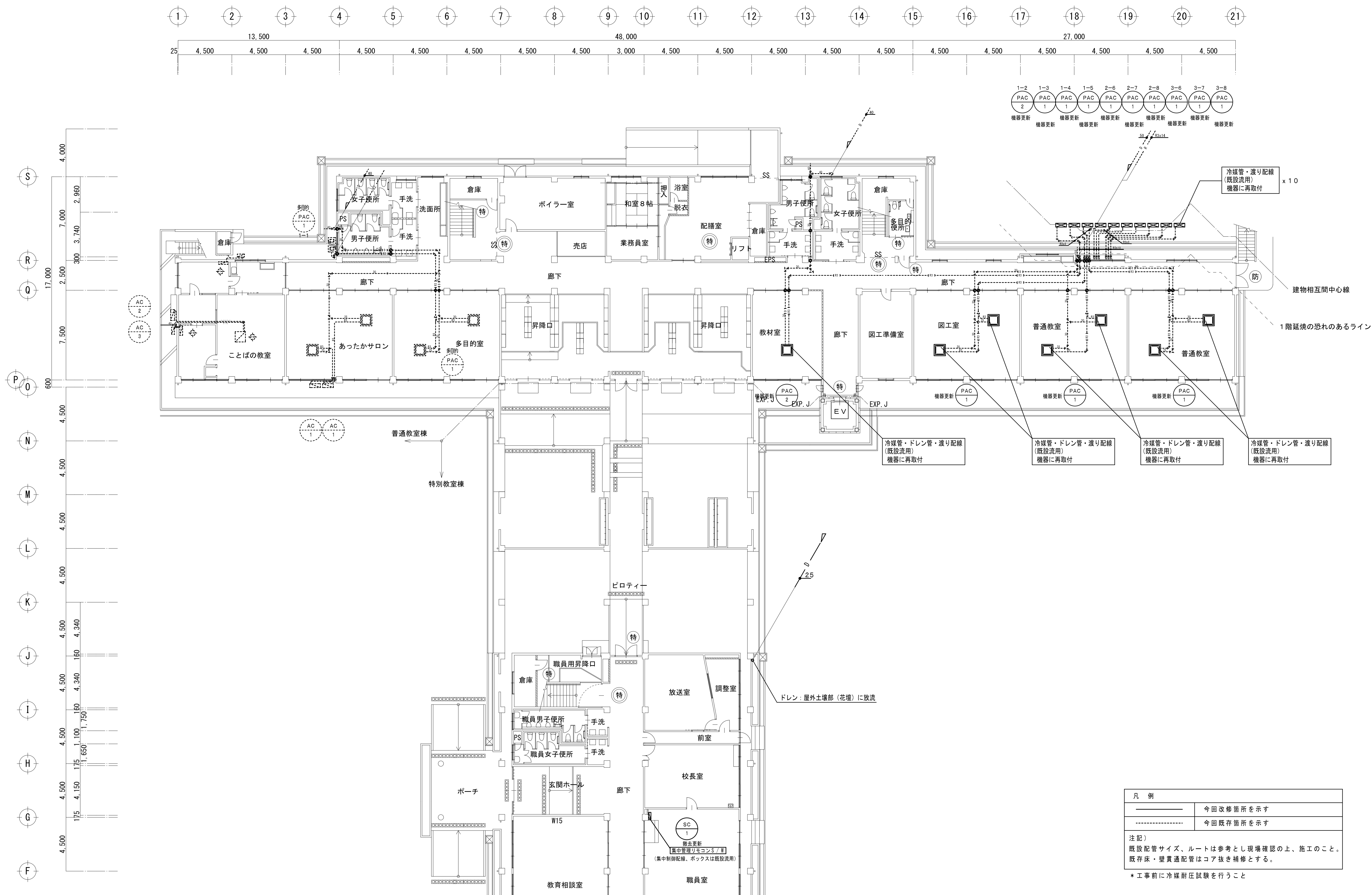
図 名 普通教室棟 1 階東側便所（改修前・改修後）平面詳細図
給排水衛生設備

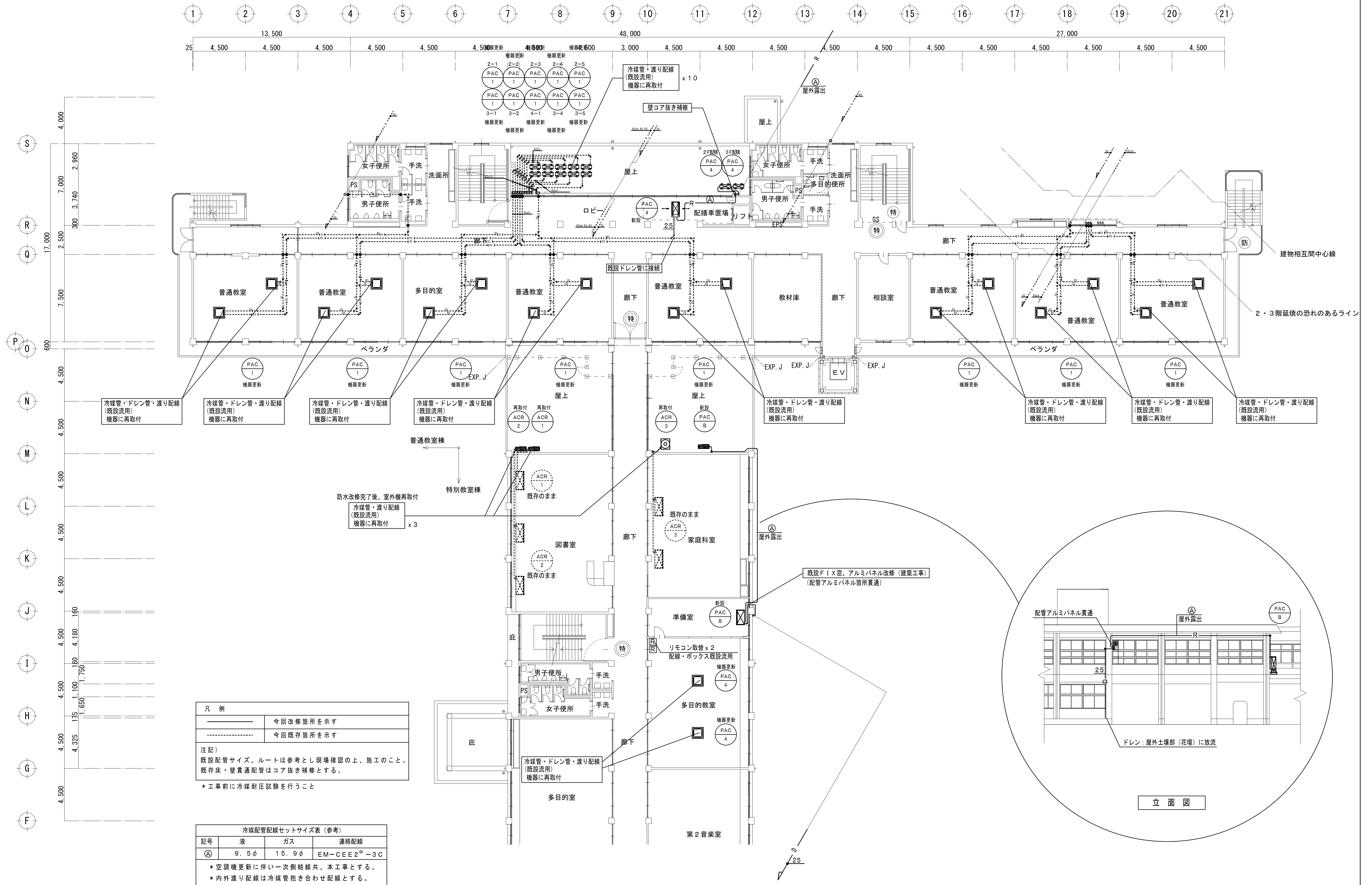
図 番 機 - 13

(新設)															
空調機器表															
記号	機器名 (参考型番)	機器仕様		電気容量			台数	設置場所	配線	開閉器	備考				
				電源	消費電力(kW)										
PAC1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式	4方向天井カセット形 同時ツイン	3φ 200V	冷房	3.96	19	【普通教室棟】 (東側)1F教室×3 (東側)2F教室×3 (東側)3F教室×3	5.5	30A	転倒防止支持金具は既設流用 (取外し・再取付)				
	冷房能力	14.0(3.1~16.0)kW	暖房		3.89										
	暖房能力	16.0(2.6~20.7)kW	低温		5.73										
	GUXB160131XU	冷媒配管	外機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	内機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ×2	圧縮機	3.29	室外機寸法 1010×370×1550H 重量 104kg								
	(高効率機器)	附属品	化粧パネル、ワイヤレスリモコン、 集中管理コントローラ対応用付属品、 他標準付属品一式共		送風機(内)	0.13×2									
			送風機(外)		0.10×2										
	基礎	既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷			APF	6.2									
PAC2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式	4方向天井カセット形	3φ 200V	冷房	2.12	1	【普通教室棟】 1F教材室	5.5	30A	転倒防止支持金具は既設流用 (取外し・再取付)				
	冷房能力	10.0(3.1~11.2)kW	暖房		2.24										
	暖房能力	11.2(2.6~15.6)kW	低温		4.39										
	GUXA112131XU	冷媒配管	外機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	内機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	圧縮機	1.86	室外機寸法 1010×370×1550H 重量 104kg								
	(高効率機器)	附属品	化粧パネル、ワイヤレスリモコン、 集中管理コントローラ対応用付属品、 他標準付属品一式共		送風機(内)	0.13									
			送風機(外)		0.10×2										
	基礎	既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷			APF	6.7									
PAC3	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式	天吊形	1φ 200V	冷房	1.70	1	【普通教室棟】 3F教材室	3.5	30A	転倒防止支持金具は既設流用 (取外し・再取付)				
	冷房能力	7.1(1.9~8.0)kW	暖房		1.91										
	暖房能力	8.0(1.3~10.6)kW	低温		3.20										
	GCXA80131JXU	冷媒配管	外機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	内機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	圧縮機	1.27	室外機寸法 1010×370×1550H 重量 74kg								
	(高効率機器)	附属品	ワイヤレスリモコン、 集中管理コントローラ対応用付属品、 他標準付属品一式共		送風機(内)	0.094									
			送風機(外)		0.060										
	基礎	既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷			APF	6.2									
PAC4	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式	2方向天井カセット形	3φ 200V	冷房	2.79	2	【普通教室棟】 2F配膳車置場 3F配膳車置場	5.5	30A	転倒防止支持金具は既設流用 (取外し・再取付)				
	冷房能力	10.0(3.1~11.2)kW	暖房		3.14										
	暖房能力	11.2(2.6~15.6)kW	低温		5.12										
	GWXA11213XU	冷媒配管	外機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	内機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	圧縮機	1.86	室外機寸法 1010×370×1550H 重量 104kg								
	(高効率機器)	附属品	化粧パネル、ワイヤレスリモコン、 集中管理コントローラ対応用付属品、 他標準付属品一式共		送風機(内)	0.139									
			送風機(外)		0.10×2										
				APF	5.7										
SC1	集中管理リモコン	形式	64系統集中コントローラー	1φ 100V			1	【管理教室棟】 1F職員室			制御配線、ボックス既設流用				
	TCB-SC640TU														
											(普通教室棟系統用)				
PACA	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式	4方向天井カセット形	3φ 200V	冷房	3.96	2	【特別教室棟】 2Fコンピューター室	5.5	30A	転倒防止支持金具は既設流用 (取外し・再取付)				
	冷房能力	14.0(3.1~16.0)kW	暖房		3.89										
	暖房能力	16.0(2.6~20.7)kW	低温		5.73										
	GUXA160131XU	冷媒配管	外機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	内機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	圧縮機	3.29	室外機寸法 1010×370×1550H 重量 104kg								
	(高効率機器)	附属品	化粧パネル、ワイヤレスリモコン、 集中管理コントローラ対応用付属品、 他標準付属品一式共		送風機(内)	0.13									
			送風機(外)		0.10×2										
	基礎	既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷			APF	6.2									
PACB	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形式	天吊形	3φ 200V	冷房	1.70	1	【普通教室棟】 2F準備室	3.5	20A	転倒防止支持金具は既設流用 (取外し・再取付)				
	冷房能力	7.1(1.9~8.0)kW	暖房		1.91										
	暖房能力	8.0(1.3~10.6)kW	低温		3.20										
	GCXA80131XU	冷媒配管	外機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	内機 液管 9.52φ ガス管 15.88φ	圧縮機	1.27	室外機寸法 1010×370×1550H 重量 74kg								
	(高効率機器)	附属品	ワイヤレスリモコン、 集中管理コントローラ対応用付属品、 他標準付属品一式共		送風機(内)	0.094									
			送風機(外)		0.060										
	基礎	既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷			APF	6.2									
注記) *1. 室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 *2. 電源容量値、配線、開閉器、備考数値は参考として納入メーカー仕様による。 *3. 運転特性、能力はJIS条件による。 *4. 室外機:必要に応じて転倒防止支持金具取付のこと。 *5. リモコンスイッチ用配線は、EM-CEE1.25□-2C。 *6. 断熱材被覆銅管 原管はJIS H3300による。 保温厚はガス管20mm、液管10mm以上とする。 *7. 高調波対策が必要な機器は高調波フィルターを付属品として対策の事。															
※パッケージエアコンはJIS B 8616で規定された「定格冷暖房能力」「定格冷暖房消費電力」															

着工															
竣工															
施工															

株式会社 創作舎		作成	2026.03.15	名称	市立能登川東小学校大規模改修工事(機械設備工事)				図番	機 - 15
1級建築士登録 第248195号 小杉光史		証印		図名	機器表		空調換気設備			

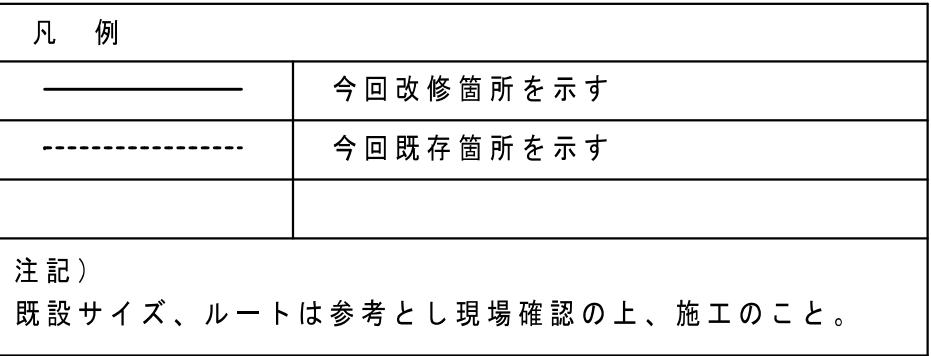
[illegible]

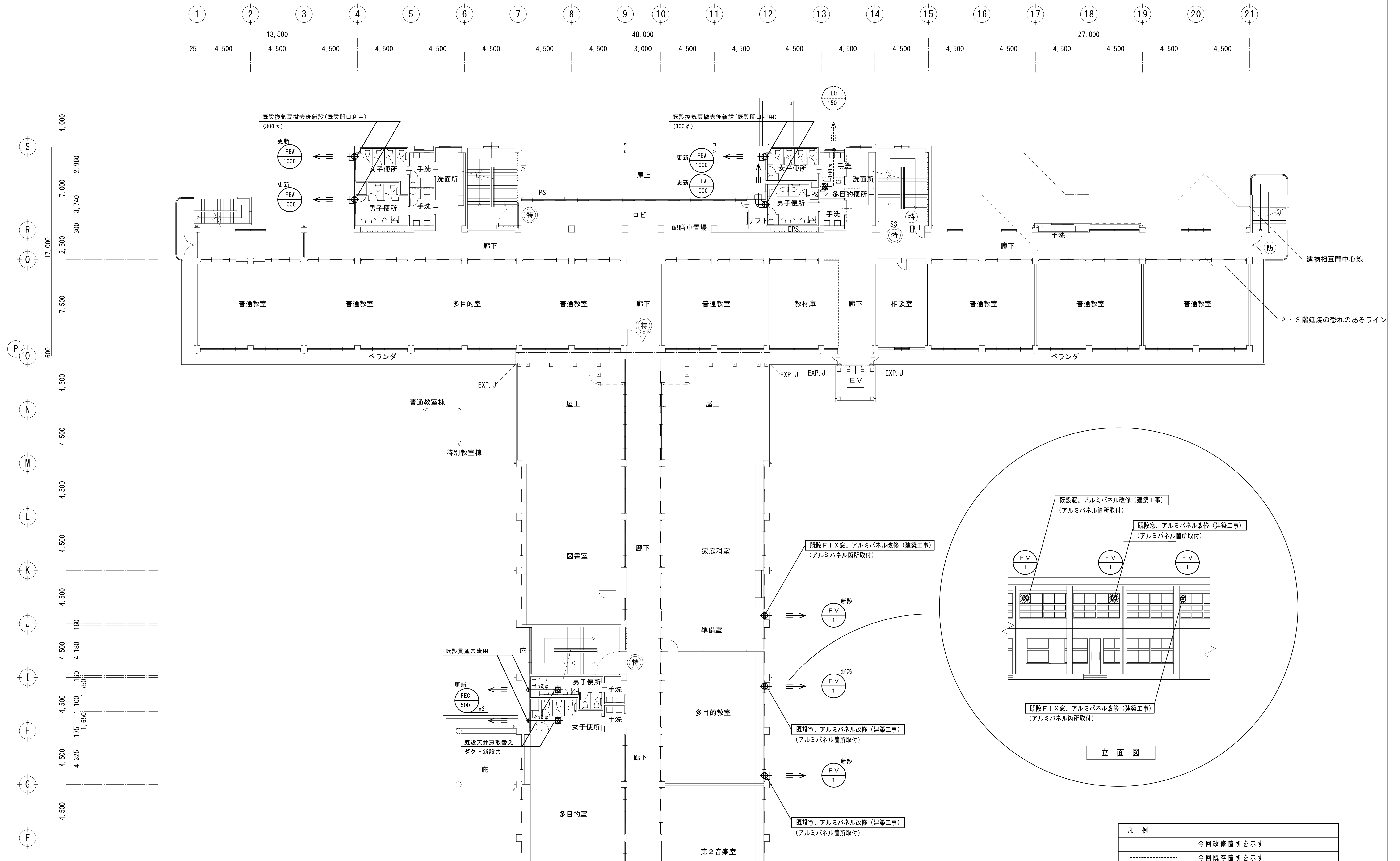


立面图

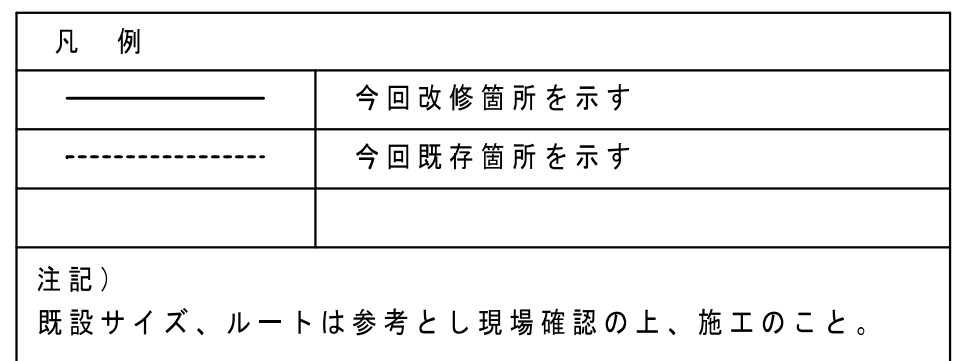
[illegible]

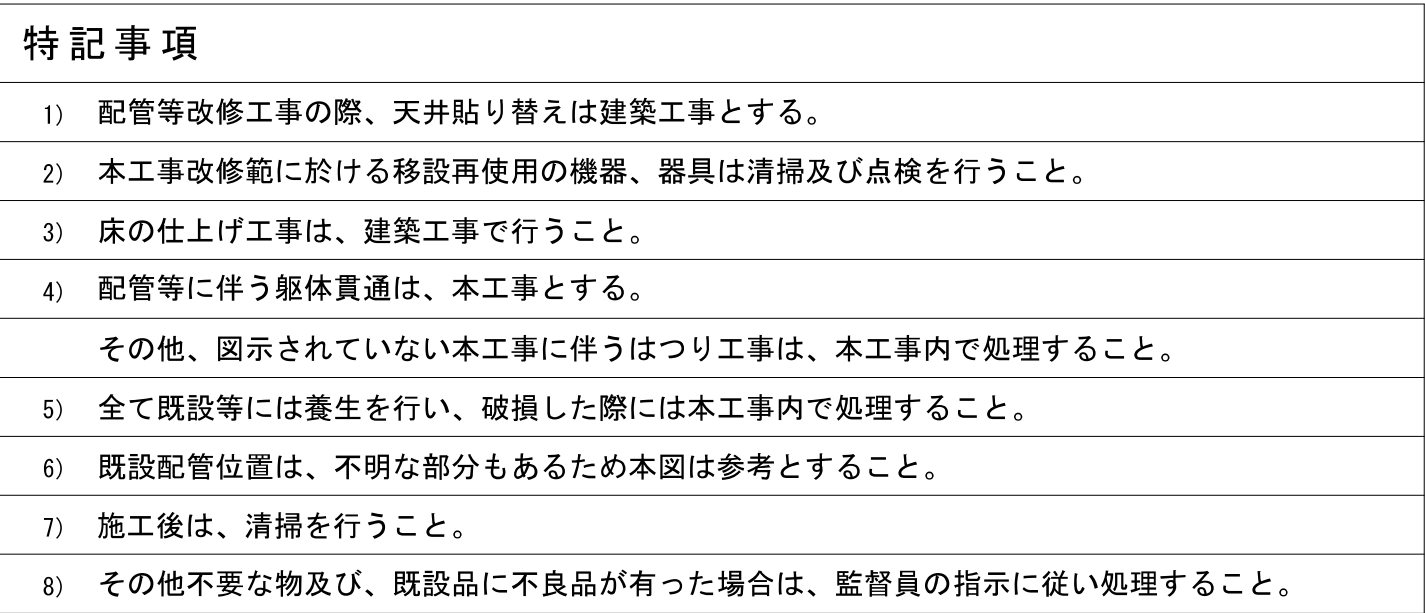


[illegible]



凡 例	
_____	今回改修箇所を示す
-----	今回既存箇所を示す
注 記)	
既設サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。	



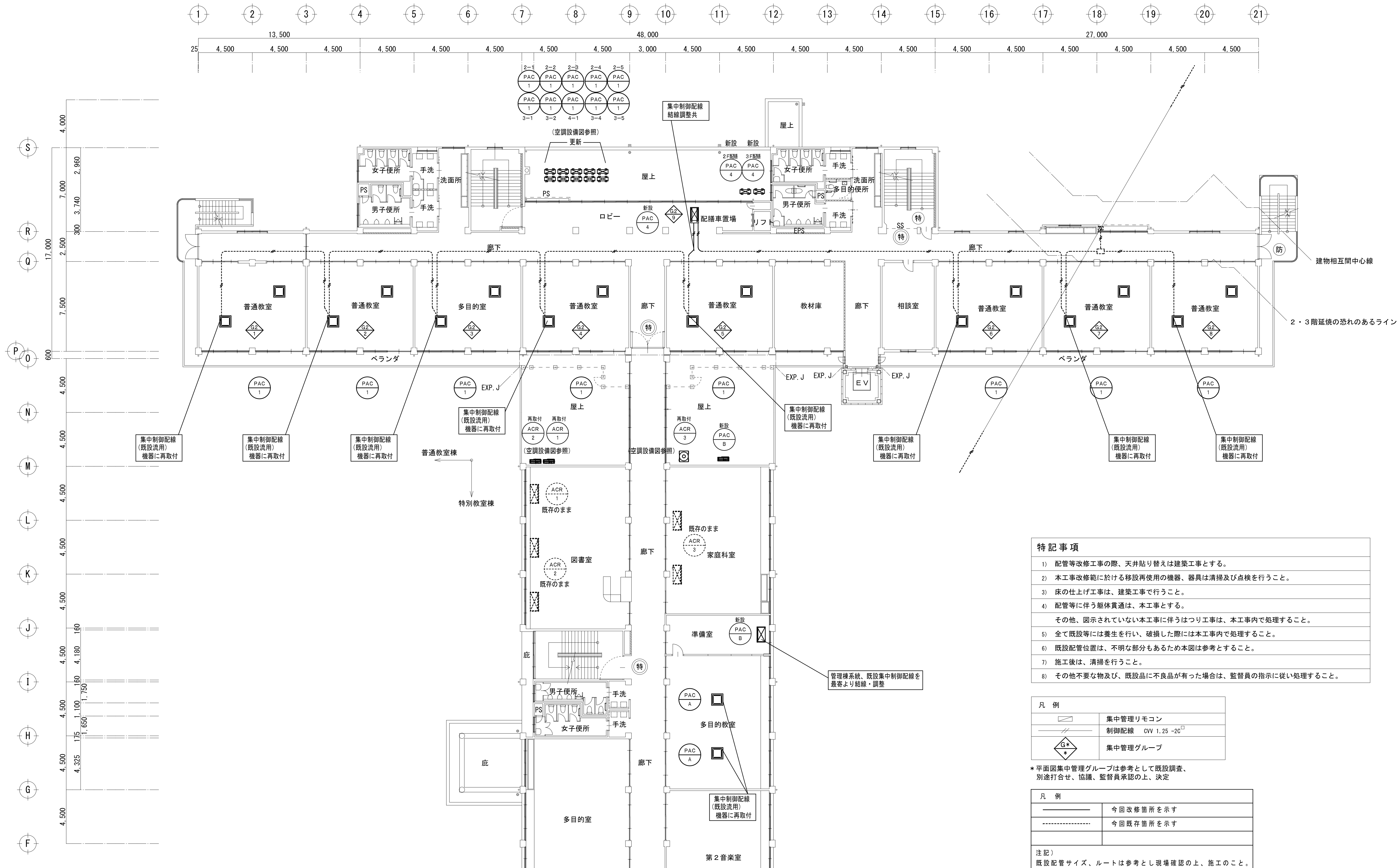


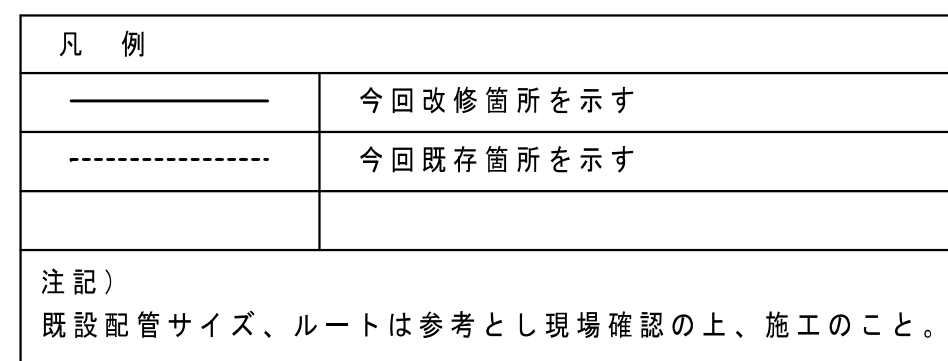
凡 例	
	集中管理リモコン
	制御配線 CVV 1.25 -2C 
	集中管理グループ

※ 平面図集中管理グループは参考として既設調査、別途打合せ、協議、監督員承認の上、決定

凡 例	
_____	今回改修箇所を示す
-----	今回既存箇所を示す

注記)
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。





機器表（既設）
空調換気設備

A1:N・S
A3:N・S

（ 既 設 ）

空調機器表

記 号	名称（既設室外機型番）	形 式	電 源 容 量	数 量	設置場所	備 考		
PAC 1	空冷ヒートポンプエアコン (ROA-AP1601HS) (東芝)	形 式 冷房能力 付属品 冷媒配管 基 礎	天井カセット4方向吹出形 同時ツイン 14.0 kW 化粧パネル、リモコン、他一式 液管9.5φ、ガス管15.9φ (×2) 既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷	3φ200V 圧縮機 3.1kW 冷媒 R410A	19 1F図工室、普通教室×2 2F普通教室×8 3F普通教室×8	撤去・処分 冷媒回収破壊処理 室外機重量：92kg		
	PAC 2	空冷ヒートポンプエアコン (ROA-AP1125HS) (東芝)	形 式 冷房能力 付属品 冷媒配管 基 礎	天井カセット4方向吹出形 10.0 kW 化粧パネル、リモコン、他一式 液管9.5φ、ガス管15.9φ 既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷	3φ200V 圧縮機 1.9kW 冷媒 R410A	1 1F教材室 室外機重量：90kg	撤去・処分 冷媒回収破壊処理	
		PAC 3	空冷ヒートポンプエアコン	形 式 冷房能力 付属品 冷媒配管 基 礎	天吊形 7.1 kW リモコン、他一式 液管9.5φ、ガス管15.9φ 既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷	3φ200V 圧縮機 1.5kW 冷媒 R410A	1 3F教材室 室外機重量：68kg	撤去・処分 冷媒回収破壊処理
			SC 1	集中管理リモコン TCB-SC642TL (東芝)	形 式	64系統集中コントローラー	1φ100V	1 1F職員室
PAC A				空冷ヒートポンプエアコン (RYJ140F) (ダイキン)	形 式 冷房能力 付属品 冷媒配管 基 礎	天井カセット4方向吹出形 12.5 kW 化粧パネル、リモコン、他一式 液管9.5φ、ガス管15.9φ 基礎（既存のまま）	3φ200V 圧縮機 3.75kW 冷媒 R22	2 2Fコンピューター室 室外機重量：104kg
	ACP 1			空冷ヒートポンプエアコン (RZZP140CA) (ダイキン)	形 式 冷房能力 冷媒配管 基 礎	天吊形 12.5 kW 液管9.52φ、ガス管15.9φ 既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷共	3φ200V 圧縮機 2.29kW 冷媒 R410A	1 2F図書室 室外機重量：90kg 室内機・既存のまま
		ACP 2		空冷ヒートポンプエアコン (RZZP280CA) (ダイキン)	形 式 冷房能力 冷媒配管 基 礎	天吊形 同時ツイン 25.0 kW 液管9.52φ、ガス管15.9φ 既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷共	3φ200V 圧縮機 5.26kW 冷媒 R410A	1 2F図書室 室外機重量：133kg 室内機・既存のまま
			ACP 3	空冷ヒートポンプエアコン (ROB-AP2804HS) (東芝)	形 式 冷房能力 冷媒配管 基 礎	天吊形 同時ツイン 25.0 kW 液管12.5φ、ガス管25.4φ 既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷共	3φ200V 圧縮機 2.7×2kW 冷媒 R410A	1 2F家庭科室 室外機重量：206kg 室内機・既存のまま
共通特記								
・ 既設機器数値は参考とする。								
・ 撤去屋外機は冷媒回収破壊処理を行うこと。								
・ 冷媒配管・ドレン管、渡り配線、リモコン配線、集中制御配線については既設流用とする。 工事前に冷媒耐圧試験を行うこと。 現場施工調査、確認にて既設流用が困難な場合、監督員と協議の上、新設改修を行う。								
・ 既存流用の機器・配管類で工事に支障が出た場合、取外し・再取付を行う。								
・ 既設配管流用のフローは以下とする（参考） 冷媒回収・機器撤去 → 機器搬入 → 気密試験 → 真空乾燥 → 自動試運転（自動処理・冷媒オートチャージ）								
・ 取外し・再取付機器については点検、整備、清掃の上、再取付とする。								
※ビル用マルチエアコンはJIS B 8616で規定された「定格冷暖房能力」「定格冷暖房消費電力」								
※パッケージエアコンは JIS B 8616で規定された「定格冷暖房能力」「定格冷暖房消費電力」								
※排気ファンの電動機出力は、JIS C 9603に指定された消費電力による。								
※排気ファンの電動機は、JIS C 4213（低圧三相かご形誘導電動機）に指定された低圧トランナーマーターとする。								
※全熱交換機的全熱交換効率、JIS B 8628に指定された定格時エンタルピ交換効率とする。								

（ 既 設 ）

空調機器表

記 号	名称（既設室外機型番）	形 式	電 源 容 量	数 量	設置場所	備 考		
PAC 1	空冷ヒートポンプエアコン (ROA-AP1601HS) (東芝)	形 式 冷房能力 付属品 冷媒配管 基 礎	天井カセット4方向吹出形 同時ツイン 14.0 kW 化粧パネル、リモコン、他一式 液管9.5φ、ガス管15.9φ (×2) 既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷	3φ200V 圧縮機 3.1kW 冷媒 R410A	1 1F多目的室	既存のまま		
	AC 1	空冷ヒートポンプエアコン (RZYP80FV) (ダイキン)	形 式 冷房能力 付属品 冷媒配管 基 礎	天井カセット4方向吹出形 7.1 kW 化粧パネル、リモコン、他一式 液管9.5φ、ガス管15.9φ 既成コンクリート基礎（既存のまま）	3φ200V 圧縮機 1.9kW 冷媒 R407C	2 1Fあったかサロン 室外機重量：70kg	既存のまま	
		AC 2	空冷ヒートポンプエアコン (RZYP80KT) (ダイキン)	形 式 冷房能力 付属品 冷媒配管 基 礎	天井カセット4方向吹出形 7.1 kW 化粧パネル、リモコン、他一式 液管9.5φ、ガス管15.9φ 既成コンクリート基礎（既存のまま）	3φ200V 圧縮機 1.7kW 冷媒 R407C	1 1Fことばの教室 室外機重量：60kg	既存のまま
			AC 3	ルームエアコン (R253AES) (ダイキン)	形 式 冷房能力 付属品 冷媒配管 基 礎	壁掛形 2.5 kW リモコン、他一式 液管6.4φ、ガス管9.5φ 既成コンクリート基礎（既存のまま）	1φ100V 圧縮機 0.75kW 冷媒 R32	1 1F検査室 室外機重量：20kg

（ 既 設 ）

換気機器表

記 号	機 器 名	仕 様	電 源	電気容量		台数	設置場所	備 考	
				名称	入力				
FEW 1000	換気扇	形 式	電気式シャッター 格子タイプ	1φ100V	FAN	30.0 W	12	1F 男子便所x2、女子便所x2	撤去・処分
		風 量	1000 m ³ /h 羽根径 300 φ					2F 男子便所x2、女子便所x2	
		付属品	SUS製ウェザーカー（防虫網付）					3F 男子便所x2、女子便所x2	
FEC 150	天井換気扇	形 式	低騒音インテリア格子タイプ	1φ100V	FAN	25.0 W	2	2F 多目的便所	既存のまま
		風 量	150 m ³ /h 静 圧 60 Pa					3F 多目的便所	
		付属品	SUS製深形フード（防虫網付）						
FEC 500	天井換気扇	形 式	低騒音インテリア格子タイプ	1φ100V	FAN	90.0 W	4	1F 職員男子便所、職員女子便所	撤去・処分
		風 量	500 m ³ /h 静 圧 100 Pa					2F 男子便所、女子便所	
		付属品							
FEP 200	パイプファン	形 式	電気式シャッター 格子グリル	1φ100V	FAN	15.0 W	1	1F 多目的便所	既存のまま
		風 量	200 m ³ /h 静 圧 10 Pa						
		付属品	SUS製深形フード（防虫網付）						
F 1	排風機	形 式	ミニシロッコファン			（不明）	4	2Fコンピューター室系統x3	撤去・処分
		風 量	600 m ³ /h 静 圧 80 Pa					2F準備室系統	

施工

竣工

施工

株式会社 創 作 舎

作成
2026.03.15

名称
市立能登川東小学校大規模改修工事（機械設備工事）

図 章

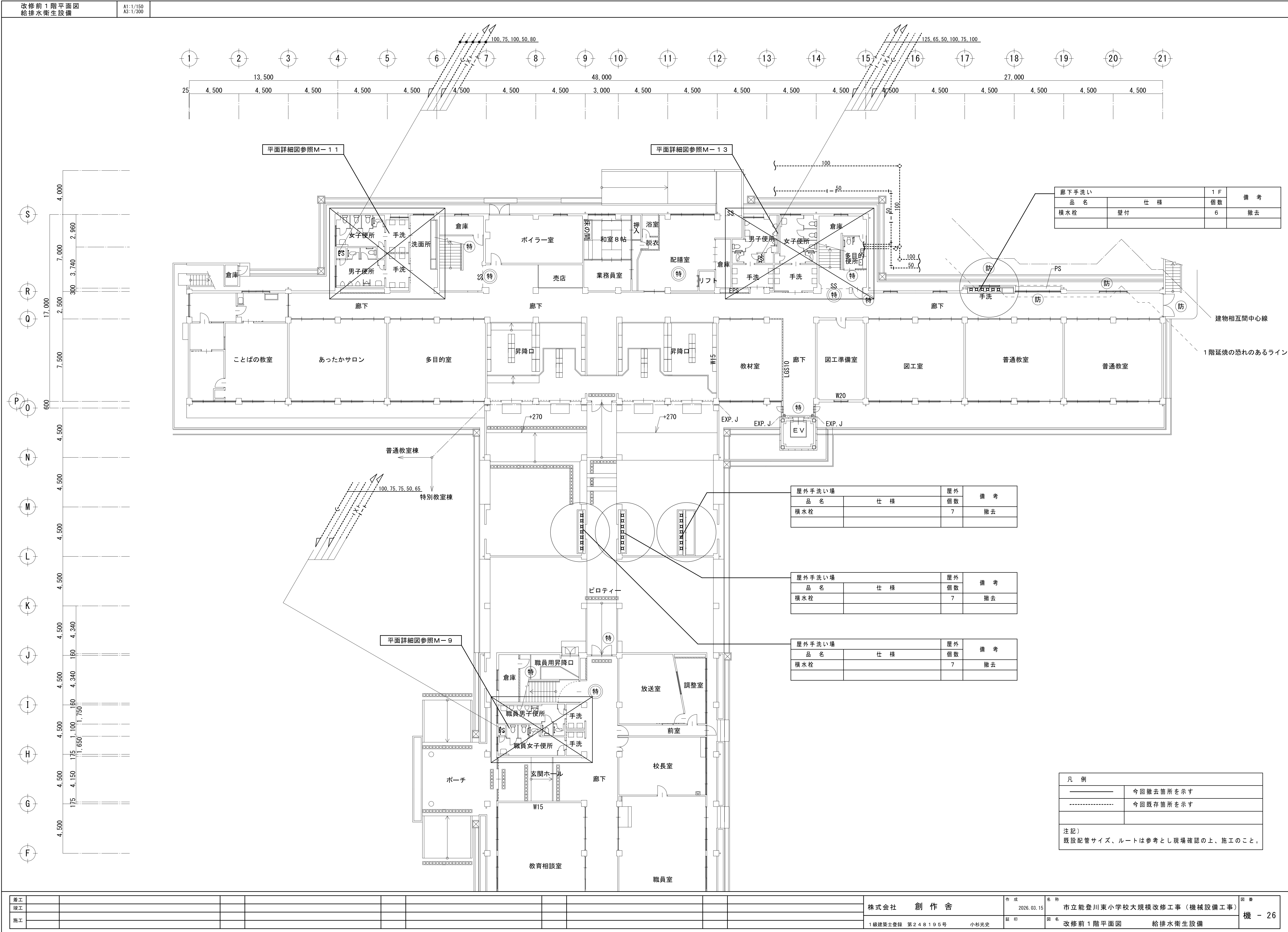
1級建築士登録 第248195号 小杉光史

記 印

図 名
機器表（既設）

空調換気設備

機 - 25



着工
竣工
施工

株式会社 創 作 舎

作成
2026.03.15

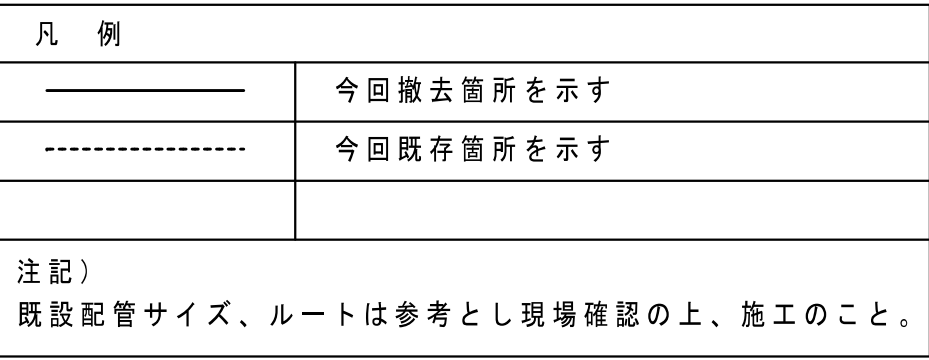
名称
市立能登川東小学校大規模改修工事（機械設備工事）

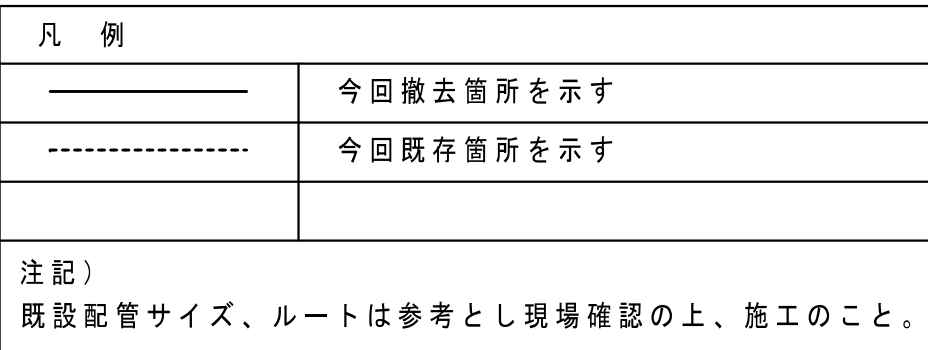
図 番
機 - 26

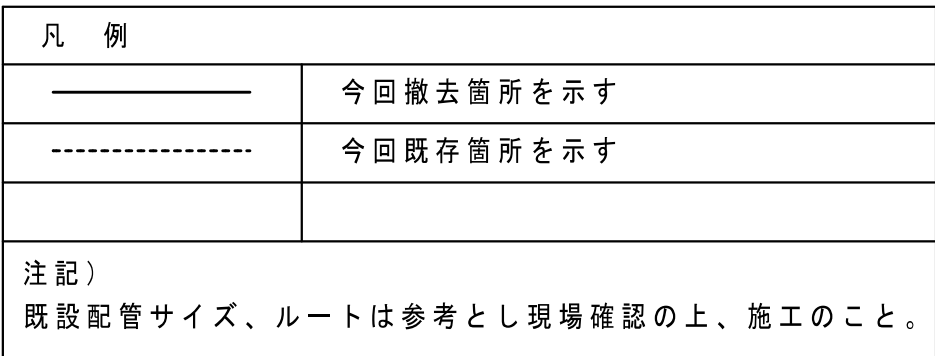
1級建築士登録 第248195号 小杉光史

監 印

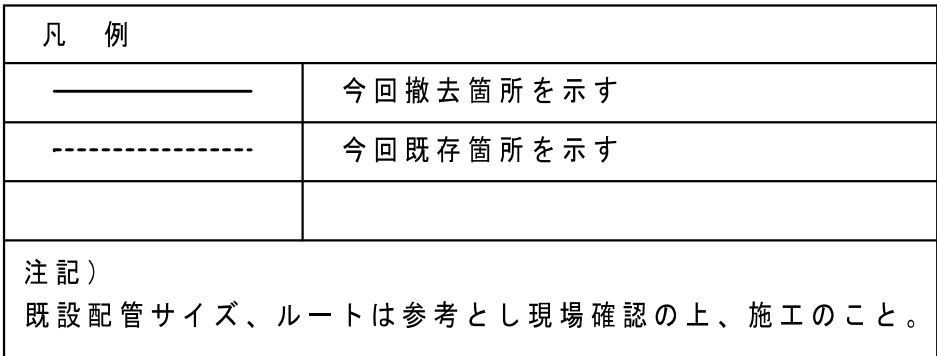
図 名
改修前 1 階平面図
給排水衛生設備

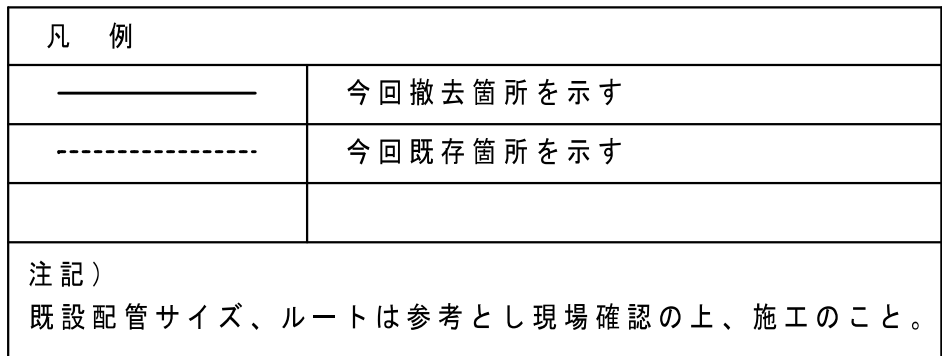


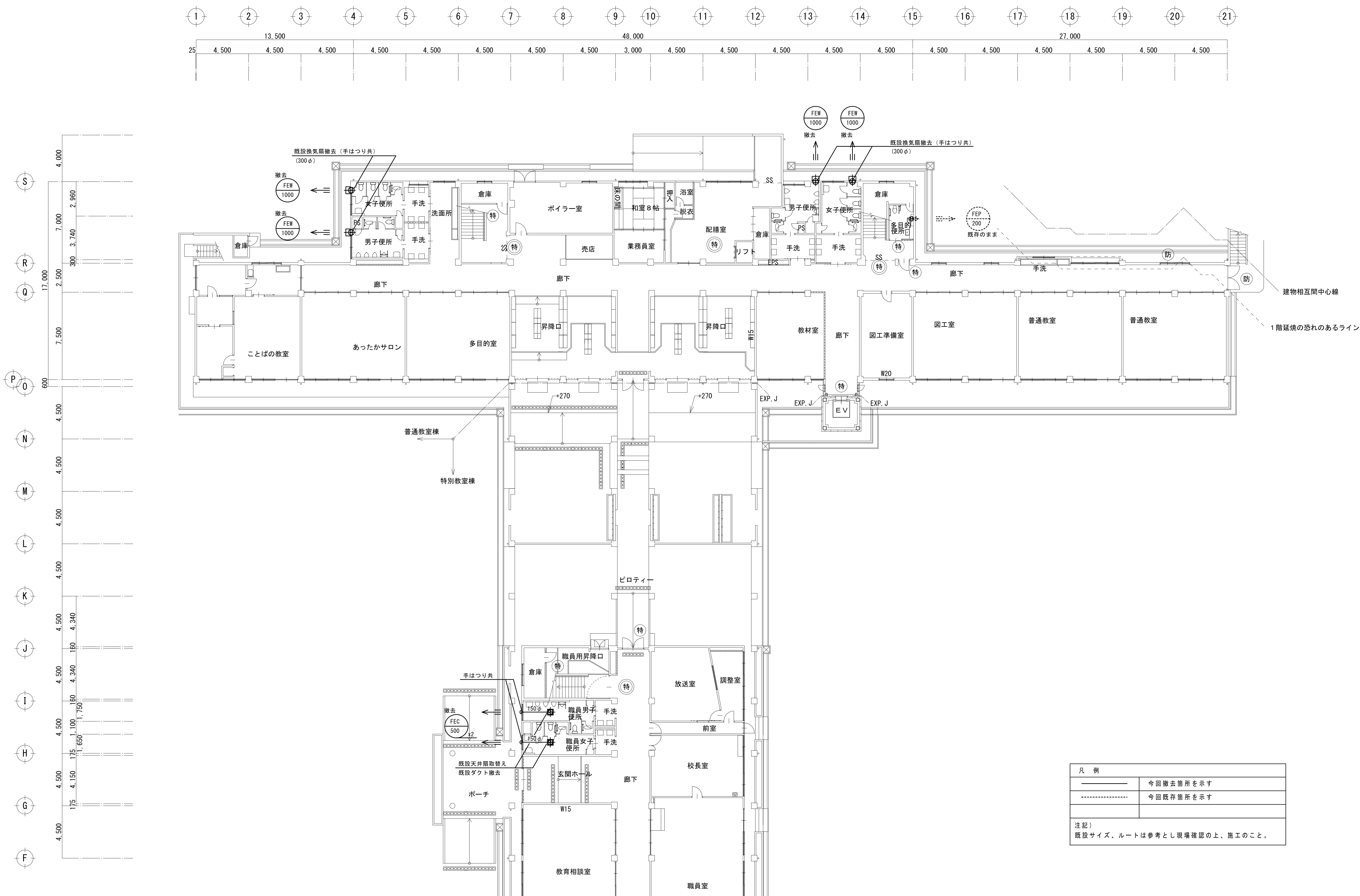




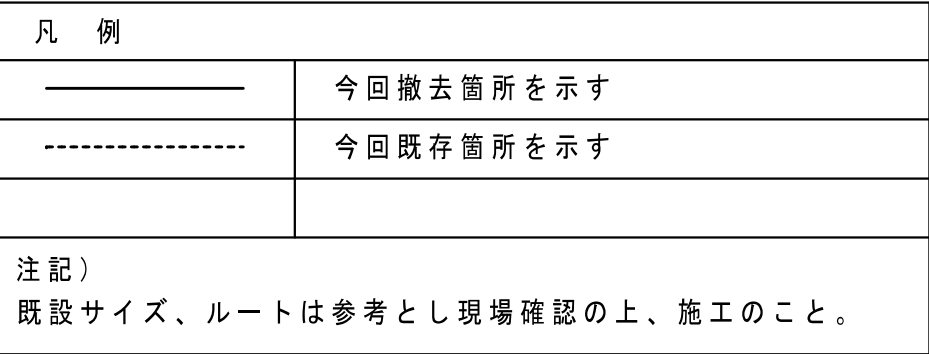
* 工事前に冷媒耐圧試験を行うこと

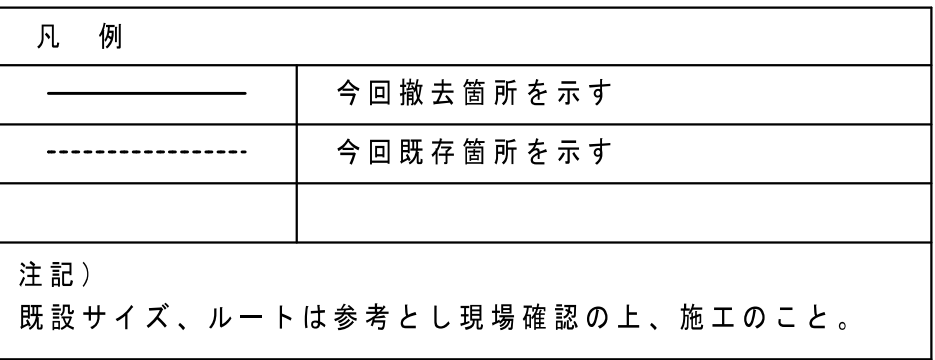


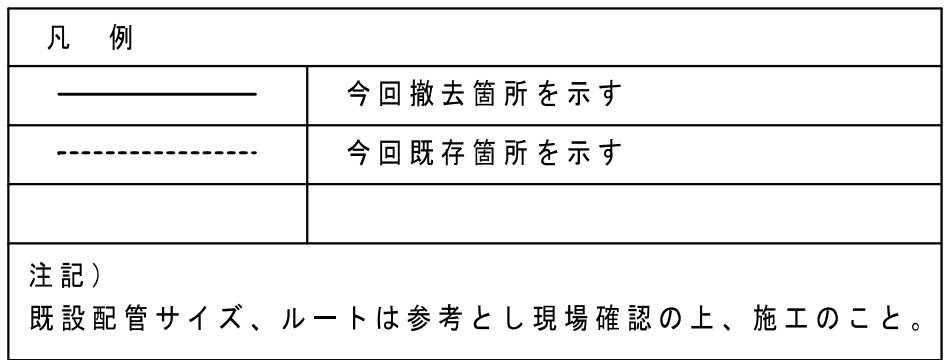


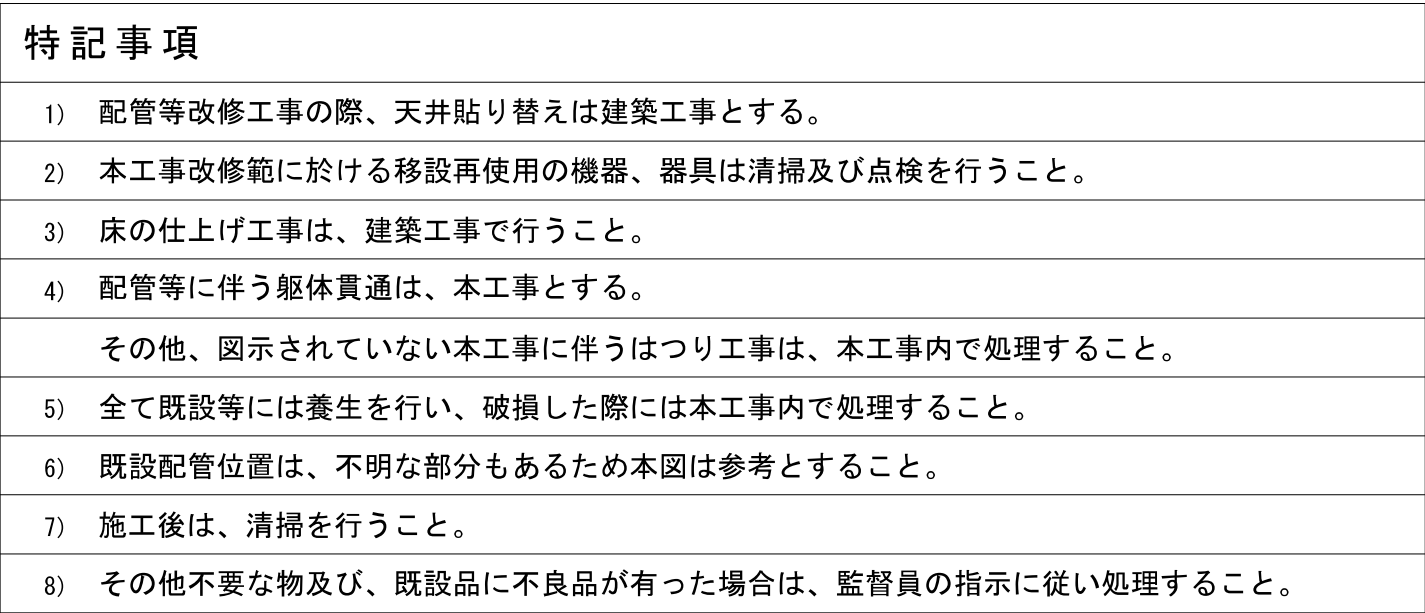


凡 例	
—————	今回撤去箇所を示す
-----	今回既存箇所を示す
注 記)	
既設サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。	





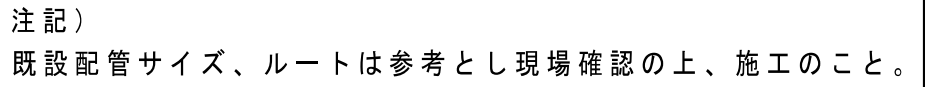


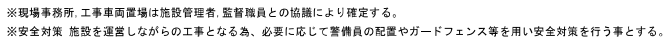


凡 例	
	集中管理リモコン
	制御配線 CVV 1.25 -2C 
	集中管理グループ

* 平面図集中管理グループは参考として既設調査のこと

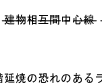
凡 例	
—————	今回撤去箇所を示す
-----	今回既存箇所を示す
注 記)	
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。	



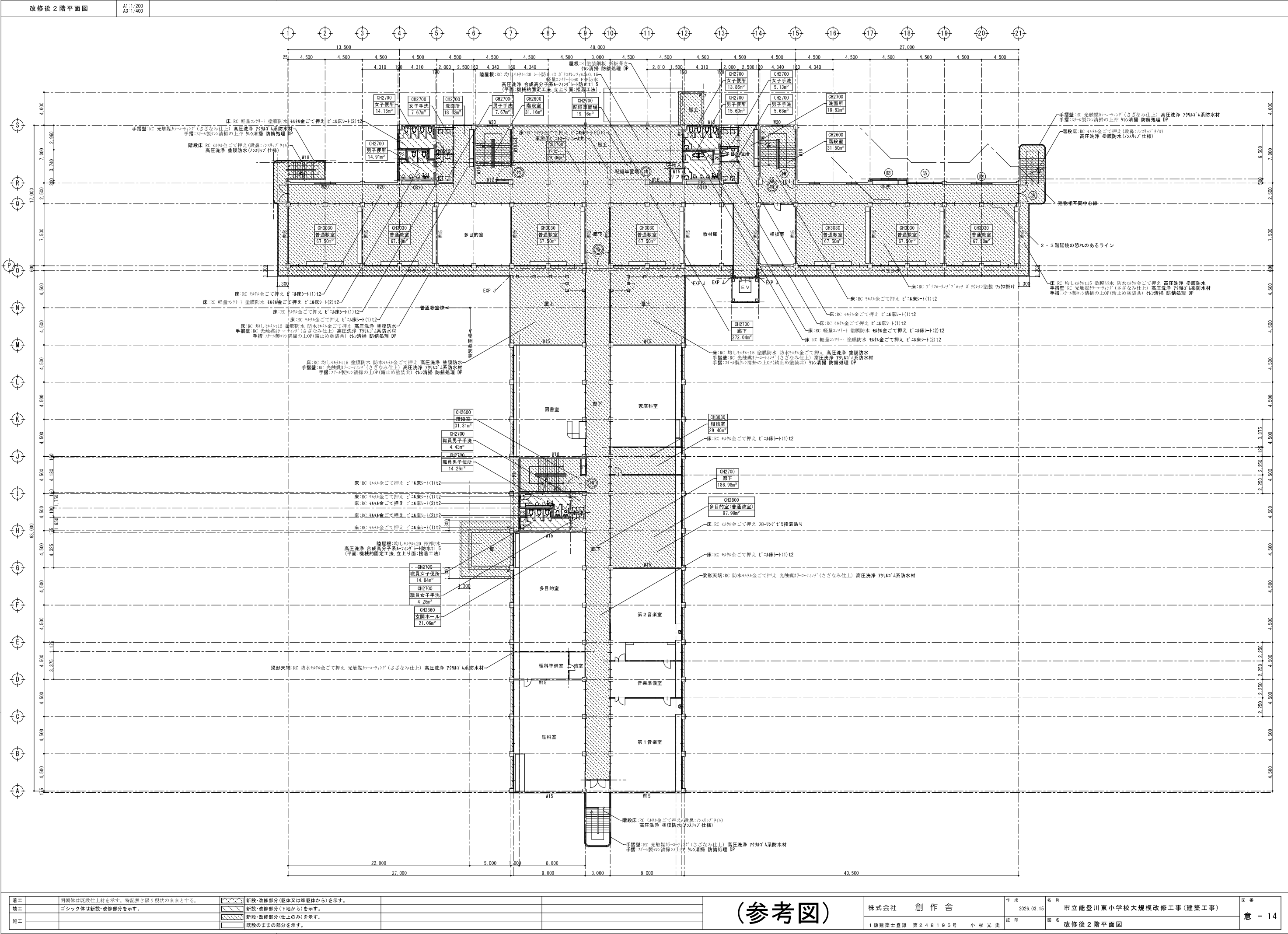


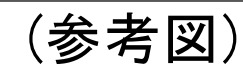
	1 箇月	2 箇月	3 箇月	4 箇月	5 箇月	6 箇月	7 箇月	8 箇月	9 箇月
仮設・準備工	●-----●		0255		●				
外 部			●-----●		●				
内 部		●-----●	主に便所建り				●		
機片付け 機 案							●●●●●	●●●●●	

着工					(参考図)	株式会社 創 作 舎	作 成 2026.03.15	名 称 市立能登川東小学校大規模改修工事(建築工事)	図 番 意 - 06
竣工						1級建築士登録 第248195号 小 杉 光 史	証 印	図 名 建物配置図	
施工									

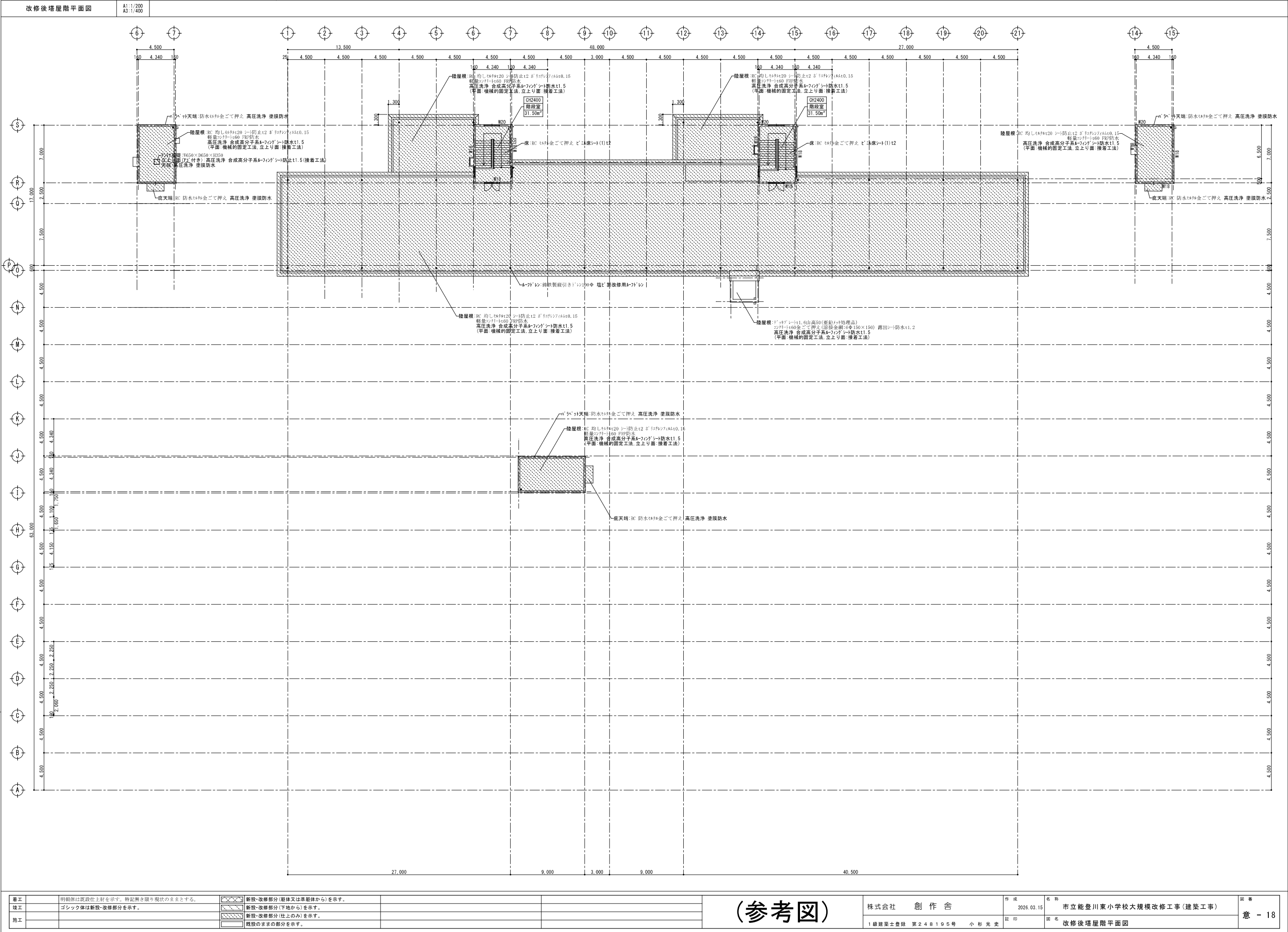


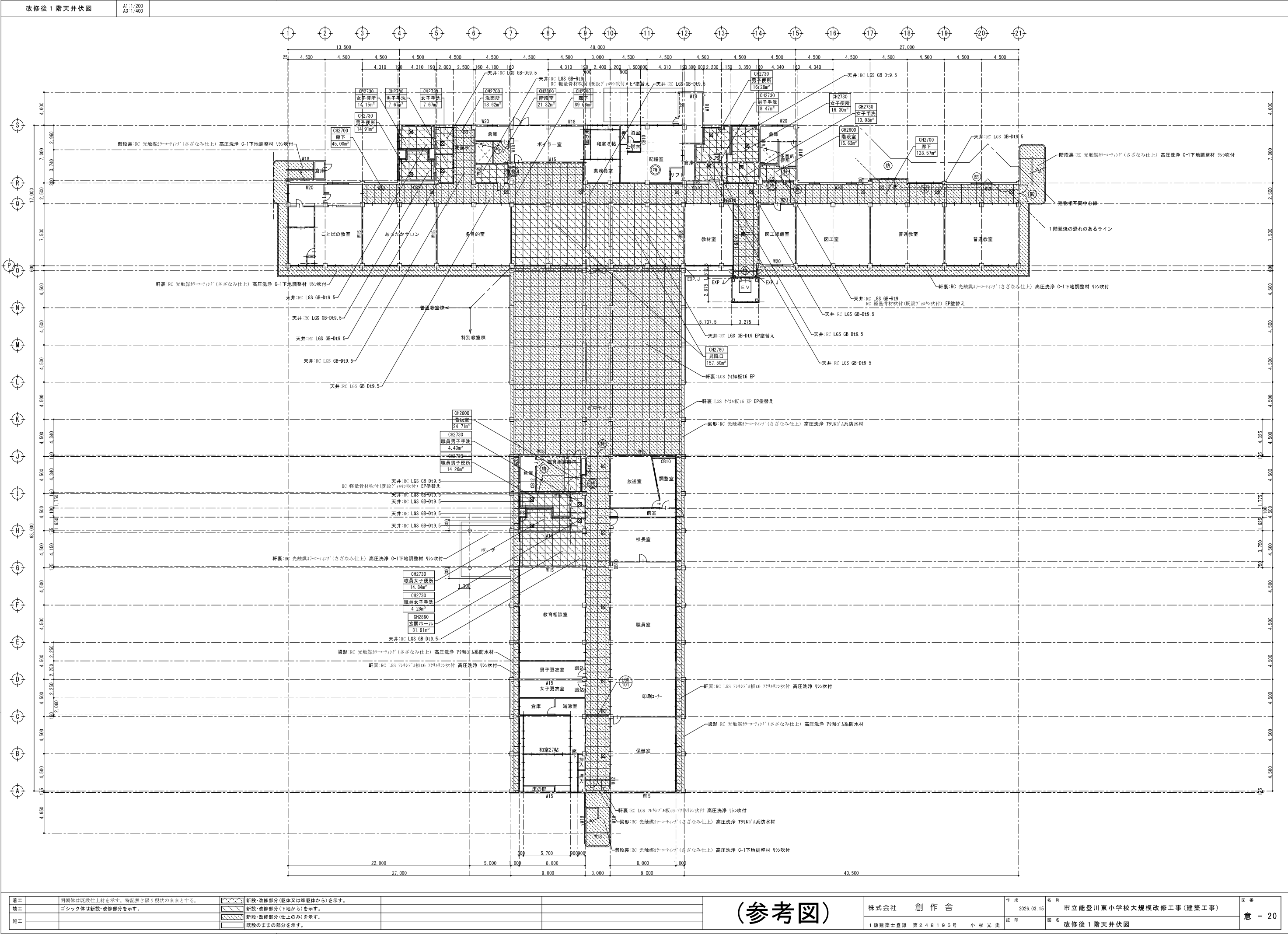
(参考図)





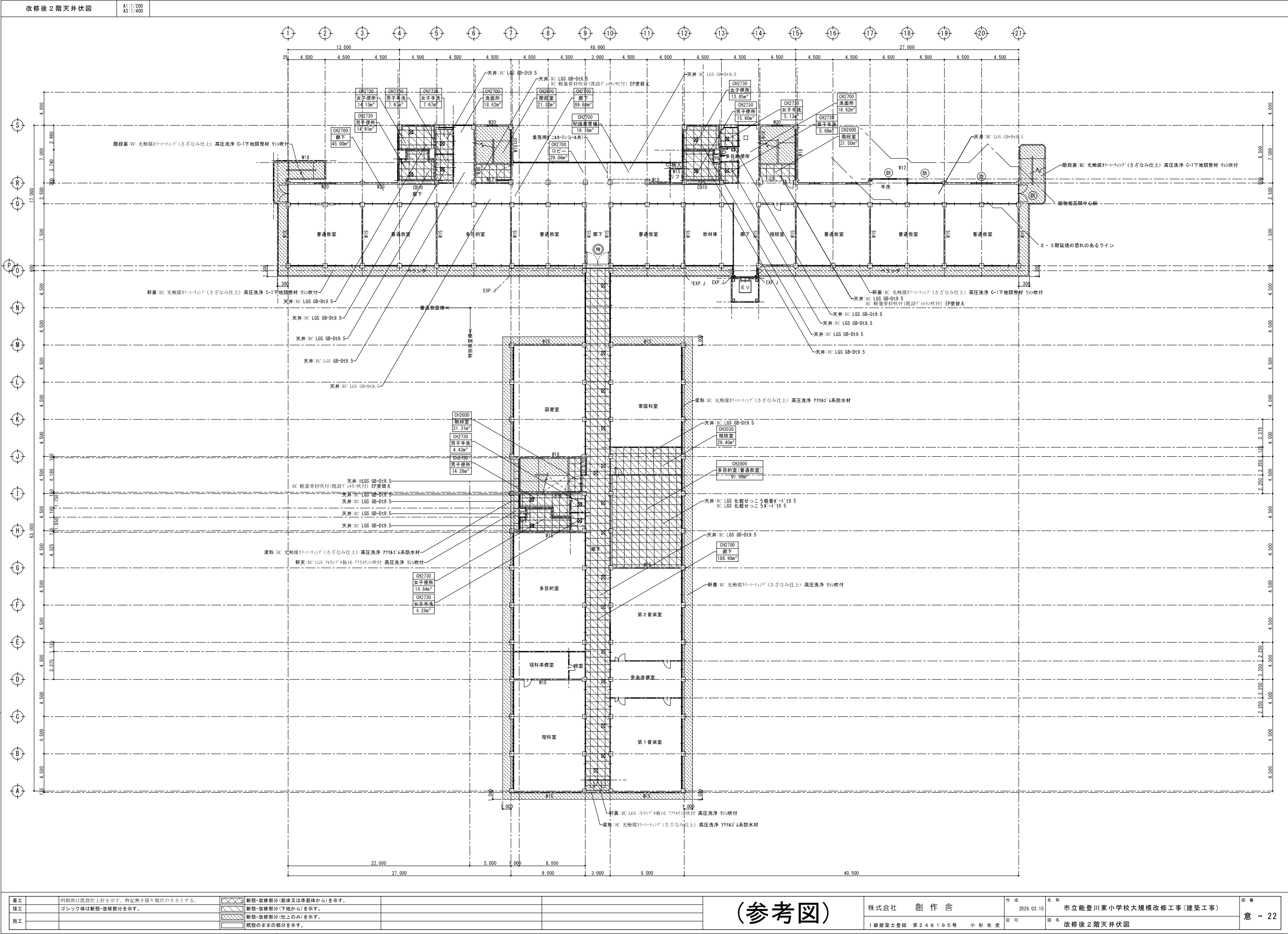
着工	明廊体は既設仕上材を示す。特記無し限り現状のままとする。		新設・改修部分(躯体又は準躯体から)を示す。		(参考図) 株式会社 創作舎 作成 2026.03.15 名称 市立能登川東小学校大規模改修工事(建築工事) 1級建築士登録 第248195号 小杉光史 証印 図名 改修後3階平面図	図 審 意 - 16
竣工	ゴシック体は新設・改修部分を示す。		新設・改修部分(下地から)を示す。			
施工			新設・改修部分(仕上のみ)を示す。			
			既設のままの部分を示す。			





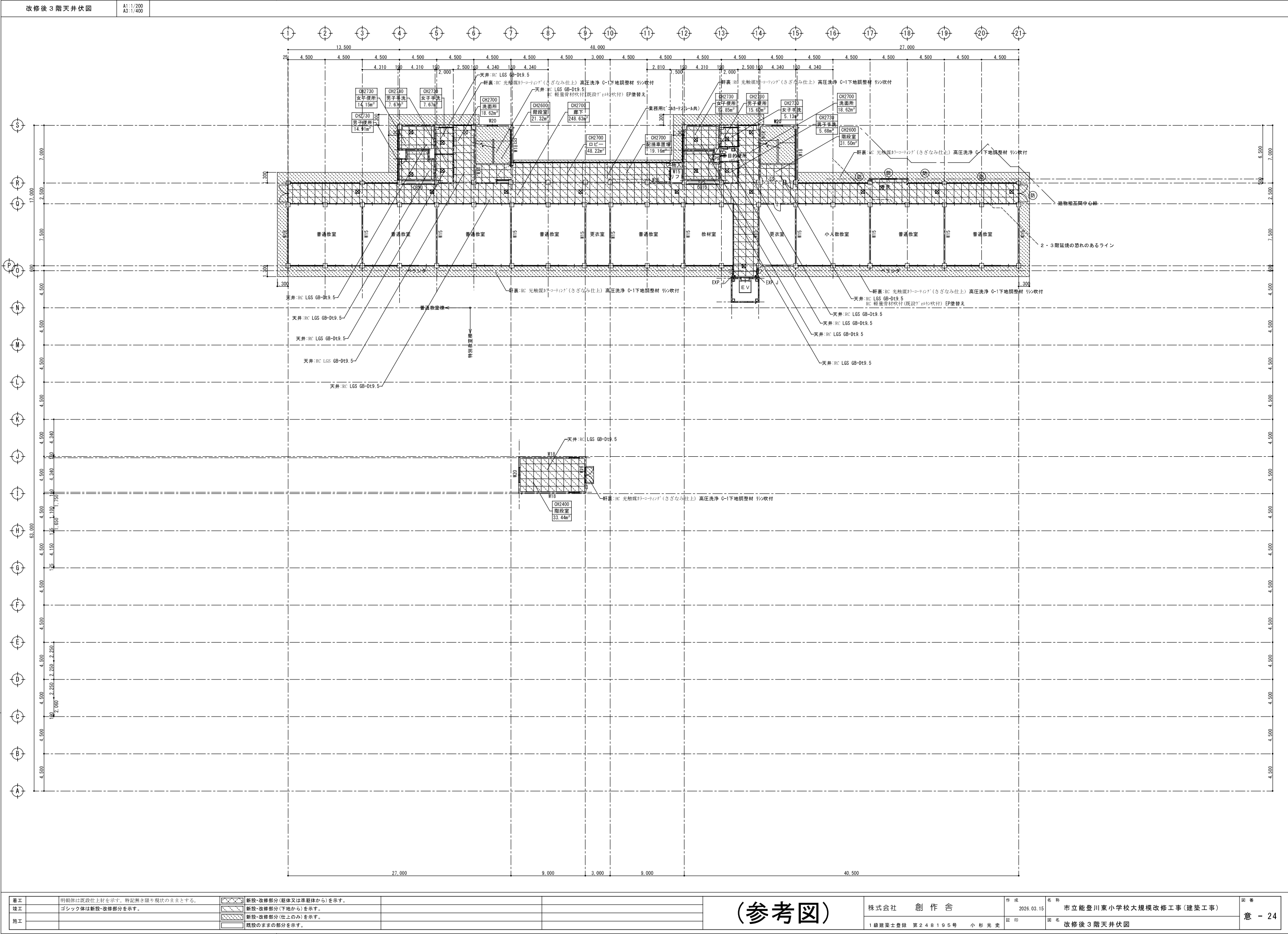
(参考図)

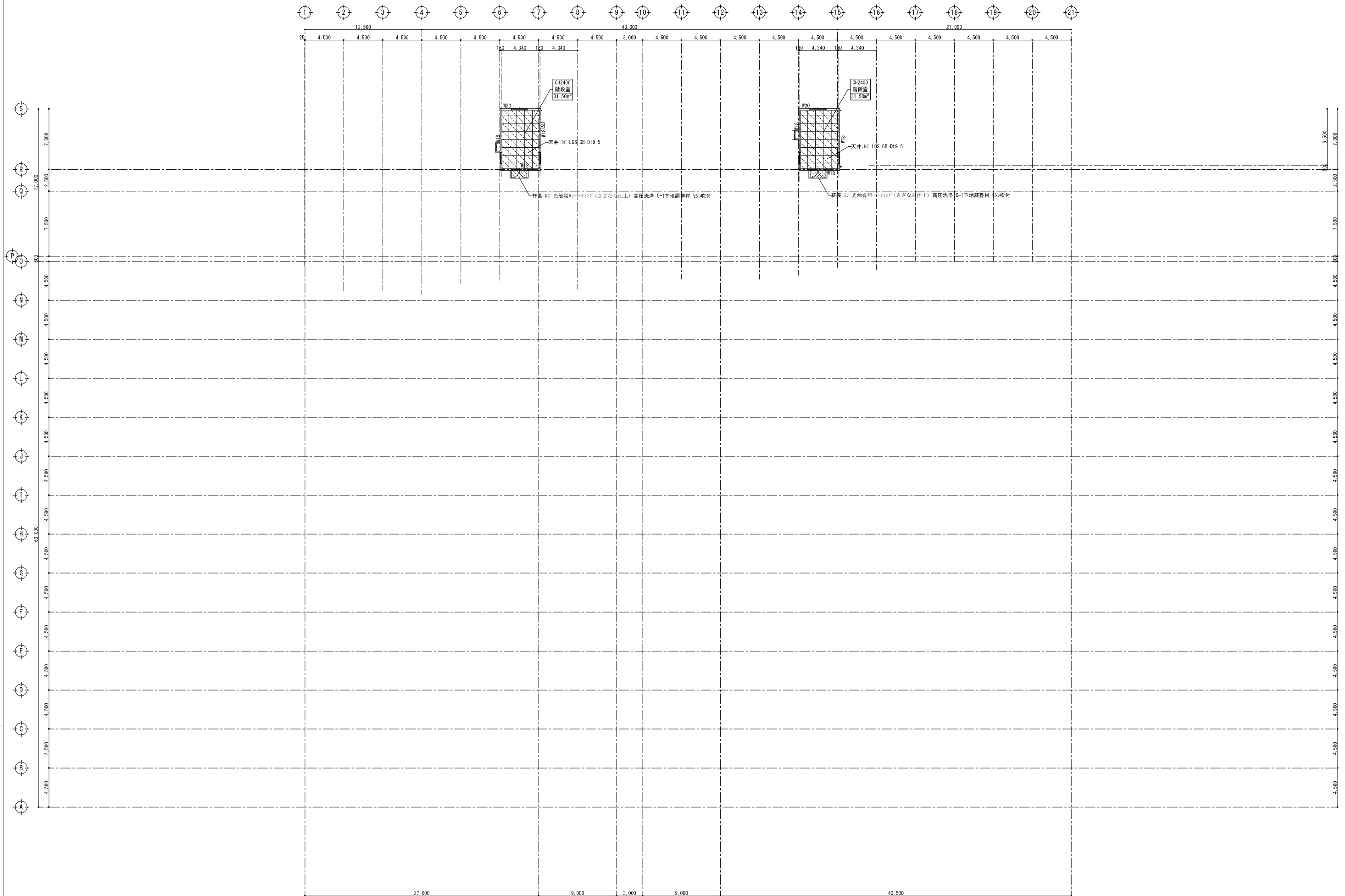
株式会社 創作舎	作成 2026.03.15	名称 市立能登川東小学校大規模改修工事(建築工事)	図番
1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証印	図名 改修後 1 階天井伏図	意 - 20



(参考図)

着工	明細図は既設仕上材を示す。特記無き限り現状のままとする。	 新設・改修部分(躯体又は準躯体から)を示す。		株式会社 創作舎	作成	2026.03.15	名称	市立能登川東小学校大規模改修工事(建築工事)	図番	意 - 22
竣工	ゴシック体は新設・改修部分を示す。	 新設・改修部分(下地から)を示す。			1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証印	図名	改修後2階天井伏図		
施工		 新設・改修部分(仕上のみ)を示す。								
		 既設のままでの部分を示す。								





着工	明朝体に既設仕上材を示す。特記無き限り現状のままとする。		新設・改修部分(躯体又は準躯体から)を示す。		
竣工	ゴシック体は新設・改修部分を示す。		新設・改修部分(下地から)を示す。		
施工			新設・改修部分(仕上のみ)を示す。		
			既設のままの部分を示す。		

(参考図)

株式会社 創作舎	作成 2026.03.15	名 称 市立能登川東小学校大規模改修工事（建築工事）	図 章 意 - 26
1級建築士登録 第248195号 小杉 光史	図 名 改修後塔屋階天井伏図		

